

平成25年度

事業報告書



社会福祉法人
菊川市社会福祉協議会

平成 25 年度 菊川市社会福祉協議会事業報告

目 次

平成 25 年度事業報告の概要	1
1 社協基盤強化と活性化	2
2 地域福祉推進事業	5
3 在宅福祉サービス事業	38
4 菊川児童館	41
5 小笠児童館	51
6 きくがわ子育て支援センター	60
7 おがさ子育て支援センター	65
8 介護保険事業	70
9 障害者総合支援法事業	72
10 保育園事業	74

事業報告の概要

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する組織として、自治体や目的を共にする様々な活動主体と協働し、住民が地域で支えあう環境づくりを進めるために積極的な役割を果たし、公共福祉サービスや他の民間事業者等では対応し難い人々の生活課題に対する相談支援の充実・強化に努め、福祉を基盤とした「まちづくり」に取り組んできました。

地域福祉推進事業については、①小地域福祉活動推進事業として地域福祉活動の担い手である地域サポーターやふれあいいきいきサロン関係者、地区社協関係者に向けた講座や連絡会の実施。②地域福祉推進基礎組織育成モデル事業として地域福祉を推進し地域のニーズを地域で解決していく地域福祉推進基礎組織を既設の3地区のほか、新たに4地区（河城・六郷・平川・嶺田）をモデル地区に設置し育成。③菊川市における地域福祉の実現研究会事業として、「孤立・無縁」の問題に防災・減災活動を通じた取り組み、集合住宅入居者への地域参加の働きかけと障がい者の地域移行の促進、「ひきこもり」問題に社会福祉施設・団体の連携での取り組み、についてそれぞれ委員会を立ち上げ、協議の場の設定。④権利擁護推進委員会を設置し、少子高齢化及び核家族化の進行による成年後見制度の必要性の高まりに向けた今後のあり方について検討。以上について重点的な実施及び推進を図りました。

介護保険事業については、地域で暮らす高齢者等を支える在宅サービスの主たる担い手として、介護サービスの質の向上や効率的な運営に努めました。

また、平成25年度は、役職員による介護保険あり方検討会を立ち上げ、現状の検証・分析を行い、今後の進むべき方向性を「平成25年度菊川市社会福祉協議会介護保険事業の今後のあり方検討会報告書」としてまとめました。

児童館事業では、乳幼児親子から小・中学生、高校生までが気軽に利用でき、親子や大人・子ども同士の「出会いとふれあいの場」となるように自由来館と交流事業を行ってきました。子育て支援センター事業は、子どもと育児をする人たち（家庭・地域）を応援し、子育ての不安や悩みの解決、子育て支援活動を目的に各種事業を行い、住民のニーズに応じた事業展開を図りました。保育園2園についても適正に安定した管理運営し、児童館や子育て支援センターとあわせて児童福祉の充実に努めました。

今後、社会福祉協議会がこれらの役割・事業を住民に対し存分に発揮し、住民とともに自助・共助・互助を基本とした『地域の福祉力』の強化に取り組み、開拓性、即応性、柔軟性を活かした事業展開が可能となるよう、社会福祉協議会としての考え方を整理し、また将来に対しての方向性も確立させ、取組みを強化していきたい。

1 社協基盤強化と活性化

I 会務の運営

平成 25 年度法人会務として、理事会を 4 回、評議員会を 3 回開催し、監事による会計監査は決算監査、月例会計監査を実施した。また、役員の任期満了に伴い、鶴田会長の再任と副会長 2 人体制とした。

(1) 理事会

期 日 平成 25 年 5 月 27 日 (月) 午前 9 時から

場 所 プラザけやき (201 会議室)

出席者 11 名、監事 2 名

- 議 題
- ・ 菊川市社会福祉協議会経理規程の一部改正
 - ・ 菊川市社会福祉協議会評議員の選任
 - ・ 菊川市社会福祉協議会定款の一部変更
 - ・ 平成 24 年度菊川市社会福祉協議会事業報告の認定
 - ・ 平成 24 年度菊川市社会福祉協議会一般会計決算の認定
 - ・ 平成 24 年度菊川市社会福祉協議会特別会計決算の認定
 - ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 1 次補正予算
 - ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会特別会計第 1 次補正予算

期 日 平成 25 年 6 月 7 日 (金) 午後 1 時 30 分から

場 所 プラザけやき (201 会議室)

出席者 14 名

- 議 題
- ・ 菊川市社会福祉協議会会長・副会長の選任
 - ・ 菊川市社会福祉協議会定款第 7 条第 4 項の指名
 - ・ 菊川市社会福祉協議会定款第 7 条第 5 項の選任

期 日 平成 25 年 10 月 30 日 (水) 午前 9 時から

場 所 プラザけやき (201 会議室)

出席者 12 名

- 議 題
- ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 2 次補正予算
 - ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会特別会計第 2 次補正予算

期 日 平成 26 年 3 月 10 日 (月) 午前 9 時から

場 所 プラザけやき (201 会議室)

出席者 12 名

- 報 告
- ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会及びひがし保育園、みなみ保育園指導監査の実施結果について
 - ・ 菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正及び規則の制定
 - ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会介護保険事業の今後のあり方検討会報

告書

- 議 題
- ・ 菊川市社会福祉協議会評議員の選任
 - ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 3 次補正予算
 - ・ 平成 26 年度菊川市社会福祉協議会事業計画
 - ・ 平成 26 年度菊川市社会福祉協議会一般会計当初予算
 - ・ 平成 26 年度菊川市社会福祉協議会特別会計当初予算

(2) 評議員会

- 期 日 平成 25 年 5 月 27 日 (月) 午後 1 時 30 分から
場 所 プラザけやき (201 会議室)
出席者 30 名、監事 2 名
議 題
- ・ 菊川市社会福祉協議会理事・監事の選任
 - ・ 菊川市社会福祉協議会定款の一部変更
 - ・ 平成 24 年度菊川市社会福祉協議会事業報告の承認
 - ・ 平成 24 年度菊川市社会福祉協議会一般会計決算の承認
 - ・ 平成 24 年度菊川市社会福祉協議会特別会計決算の承認
 - ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 1 次補正予算
 - ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会特別会計第 1 次補正予算

- 期 日 平成 25 年 10 月 30 日 (水) 午後 1 時 30 分から
場 所 プラザけやき (201 会議室)
出席者 26 名
議 題
- ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 2 次補正予算
 - ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会特別会計第 2 次補正予算

- 期 日 平成 26 年 3 月 10 日 (月) 午後 1 時 30 分から
場 所 プラザけやき (201 会議室)
出席者 28 名
報 告
- ・ 菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正及び規則の制定
 - ・ 平成25年度菊川市社会福祉協議会介護保険事業の今後のあり方検討会報告書
- 議 題
- ・ 菊川市社会福祉協議会理事の選任
 - ・ 平成 25 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 3 次補正予算
 - ・ 平成 26 年度菊川市社会福祉協議会事業計画
 - ・ 平成 26 年度菊川市社会福祉協議会一般会計当初予算
 - ・ 平成 26 年度菊川市社会福祉協議会特別会計当初予算

(3) 会計監査

- 決算監査 平成 26 年 5 月 20 日 (火)
月例監査 毎月 25 日前後に実施

Ⅱ 役員・職員の研修

(1) 役員視察研修

期 日 平成 25 年 7 月 10 日 (水) から 11 日 (木)
場 所 大阪府 社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会
研修内容 権利擁護事業 (法人後見事業)、居場所づくりについて
出席者 役員 11 名、職員 3 名 計 14 名

(2) 部会及び委員会活動

保育園部会 毎月 1 回の保育園部会の開催
委員会活動 毎月 1 回の業務改善委員会を開催し、職員の資質向上を図った。

(3) 社協職員の業務研修

各事業に係わる各種専門研修に参加。

『トゥルーカラーズ入門講座』

職員が、自分の個性を知り、お互いの持ち味や違いを活かしたコミュニケーションを実践するプログラムを学び、チームワークと個人の資質を育てコミュニケーションを円滑にすることを目的として実施。

日 時 平成 25 年 6 月 19 日 (水) 午後 1 時～午後 5 時
会 場 プラザけやき 201 会議室
対 象 菊川市社会福祉協議会 役職員
参加者 29 名

Ⅲ 会費納入状況

一 般 会 費

一 世 帯 @800 円 9,631,200 円 (12,039 世帯)

施設・団体会費

施設会員 @3,000 円 51,000 円 (17 施設 17 口)
団体会員 @1,000 円 6,000 円 (6 団体 6 口)

賛 助 会 費

法人会員 @3,000 円 776,000 円 (166 法人 252 口)
個人会員 @1,000 円 165,000 円 (112 人 165 口)

2 地域福祉推進事業

I 福祉広報活動

社協活動を効果的に推進するためには、住民の理解と参加が不可欠であるという観点から、広報活動を重視し、「社協だより」「ホームページ」「ブログ」「市広報」等を通じ多面的に展開した。また、よりよい広報活動を展開するために、広報モニターを設け、それぞれにアンケート調査を実施し、アンケートやモニター会議で出された意見を参考にわかりやすい広報活動に努めた。

(1) 社協だより 発行回数 月1回 計12回 発行部数 約14,600部/月

(2) ボランティアセンターだよりの発行（ボランティアセンターの広報・啓発）

発行回数 月1回 計12回

発行部数 約14,600部/月

(3) ホームページの運営及びブログによる情報発信



II 菊川市社会福祉大会の開催

近年、私たちを取りまく環境は、困窮・貧困、虐待、孤立死、自殺、DV（家庭内暴力）被害、ひきこもりなど、なかなか解決には至らない深刻な福祉・生活問題が存在しており、既存の社会保障・社会福祉制度では十分に対応しきれていないことは多くの人が感じているところである。また、東日本大震災以降、自助や共助による防災対策の必要性がこれまで以上に認識され、地域住民による様々な取り組みが行われている。

このように、誰もが安心していきいき暮らすことができる菊川市の実現に向けて、若者も高齢者も全ての人々が自助・共助・互助の下に持てる知恵と能力を結集し、地域力を高めるために開催した。

名 称	平成25年度菊川市社会福祉大会		
主 催	菊川市社会福祉協議会		
日 時	平成26年2月11日（火・祝）午後1時00分～		
会 場	菊川文化会館アエル小ホール		
参 加 者	248名		
内 容	菊川市社会福祉協議会会長表彰	個人14名	2団体
	菊川市社会福祉協議会会長感謝状贈呈	3団体	
	静岡県共同募金会会長感謝状贈呈伝達	2団体	



—大会宣言可決—

講 演（テレビ寺子屋公開録画）

テーマ 『生きる意味』

『乗り越えられない壁はない』

講 師 古市 佳央 氏（全国・講師オーディション 2013 グランプリ受賞者）

Ⅲ ふれあい広場

子どもも高齢者も、障がいを持つ人も持たない人もお互いがともに助け合い、一緒に生きていく喜びを感じられる住み良い菊川市を築き、また、福祉について考えるきっかけづくりとすることが目的の事業である。運営委員会と実行委員会とで協議を重ね、準備をしていたが、台風 27 号が開催予定日及び前日に直撃したため中止した。

Ⅳ 福祉教育

（１）地域福祉教育実践校指定事業

小・中学校及び高等学校の児童生徒に対し、地域住民との関わりを持った福祉教育を学校と連携しながら幅広く福祉学習の機会を提供することや、地域と関わりを持ち、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に、市内 9 小学校、4 中学校、2 高等学校に助成金を交付するとともに、福祉教育に関する相談・プログラムの提供と調整・作成等に関わり各校の取り組みを支援した。

Ⅴ 啓発事業

住民参加・協働による福祉活動の支援、福祉のまちづくりなど、地域福祉推進の中核的な役割を果たすため、社会福祉協議会職員が地域住民と協働し事業の推進を図った。

（１）健康講座

市内の各地区にある老人クラブ（単位老人クラブ）、地域サロンに対し、保健師と一緒に「住み慣れた地域で暮らし続けるために」出前講座を実施した。

また、ふれあい健康づくり事業として、健康でいきいきとした生活を送るために、地域に出向き体操やレクリエーション等の健康予防講座を実施した。

<講座開催状況>

	参加者	内 容
出前講座	452 名 (男性 138 名 女性 245 名 スタッフ 69 名)	活動的な生活を送るための 健康体操
七十路講座	101 名 (男性 11 名 女性 90 名)	脳いきいき講座 脳いきいき体操
健康予防講座	541 名 (男性 80 名 女性 304 名 スタッフ 146 名 学童 11 名)	自宅でも気軽に実践できる健 康体操 レクリエーション



VI 地域福祉活動の推進

各地区センター等を拠点として住民の主体的な参加・参画により、福祉を基盤としたまちづくりの推進を図った。

(1) みんなのしあわせ懇談会の開催

市民相互の助け合いや支え合いによる支援と公的なサービスの充実を両輪とした地域福祉の向上を図るため、懇談を通じて地域が抱える生活課題を把握し、地域住民の共通認識とすることを目的にコミュニティ協議会との共催により実施した。

また、懇談会での話し合いの状況を整理し当該地区に返すことにより、当日参加者以外の方への地域福祉の意識啓発と地域課題の共通認識を図った。

静岡福祉文化実践研究所の平田 厚氏がファシリテーター（中立的立場での進行役）となって進行され、コミュニティ協議会との協議によりグループ懇談を実施した地区、事例発表から懇談会を実施した地区等、様々な手法で懇談が行われた。



<開催地・開催日・参加人数>

	開催地	開催日時	参加人数		開催地	開催日時	参加人数
1	内田地区	8月 17 日(土)	49 名	7	西方地区	8月 30 日(金)	49 名
2	横地地区	8月 20 日(火)	37 名	8	小笠南地区	9月 12 日(木)	45 名
3	河城地区	8月 22 日(木)	61 名	9	平川地区	9月 27 日(金)	41 名
4	小笠東地区	8月 27 日(火)	42 名	10	嶺田地区	10 月1 日(火)	41 名
5	六郷地区	8月 28 日(水)	62 名	11	町部地区	11 月6 日(水)	34 名
6	加茂地区	8月 29 日(木)	48 名	合計			509 名

※平成 24 年度は 505 名

<アンケート結果>

「本日の『みんなのしあわせ懇談会』をとおして地区の課題や福祉ニーズについて理解を深めることができましたか。」の問いに対して **71%**の方から「理解を深めることができた。」と御回答いただいた。（市内 11 地区 332 人からの無記名アンケートの回答による）

（２） 地域福祉推進基礎組織育成モデル事業

地域福祉を推進し、地域のニーズを地域で解決していくための地域福祉推進基礎組織の育成を図ることを目的にモデル地区として「小笠東」「加茂」「町部」「六郷」「河城」「平川」「嶺田」の 7 地区を指定し、各地区のコミュニティ協議会に地域福祉の推進を図る部会を設置し、地域福祉推進基礎組織の育成を図った。

（３） 地域サポーターの発掘・育成・支援

平成 25 年度も地域の中で、社協と一緒に小地域福祉活動を進めてくれる協力者を地域サポーターとして登録し、各地区センター等を拠点として、社協職員が地域に出向き、その地域の方と共に勉強・検討しながらその地域にあった地域福祉を推進していく事業として行った。

<地域サポーター登録（平成 25 年度末）>

地 区 名	登録者数	地 区 名	登録者数
西方地区	10 名	河城地区	35 名
町部地区	17 名	平川地区	39 名
加茂地区	31 名	嶺田地区	16 名
内田地区	30 名	小笠南地区	22 名
横地地区	5 名	小笠東地区	18 名
六郷地区	11 名	総 計	234 名

ア 西方地区地域サポーター活動

堀之内自治会内において高齢者サロンを開催した。堀之内小学校事業への協力を通し、学区内の 77 歳以上高齢者世帯を対象に、手作りのお守りとメッセージカード配布を行った。お守りとメッセージカードは、堀之内小学校 6 年生児童の協力を得て制作した。



< 内容・実施状況・参加人数 >

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	6 回開催	—
堀之内サロン開催	7 月 18 日 (木)	34 名
	11 月 12 日 (火)	26 名
お守り・メッセージカード制作	11 月 19 日 (火)	64 名
堀之内小学校事業への協力	12 月 17 日 (火)	5 名

イ 町部地区地域サポーター活動

町部地区を 4 つの地域に分け、高齢者の
ふれあいいきいきサロンを開催した。



< 内容・実施状況・参加人数 >

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	11 回開催	—
日吉町・宮前・緑ヶ丘サロン	5 月 16 日 (木)	26 名
	8 月 29 日 (木)	25 名
	1 月 16 日 (木)	21 名
柳町サロン	4 月 18 日 (木)	13 名
	11 月 21 日 (木)	12 名
	3 月 27 日 (木)	10 名
新通・初咲町・日之出 1 サロン	8 月 1 日 (木)	17 名
	10 月 17 日 (木)	15 名
	2 月 27 日 (木)	9 名
本通り・西通りサロン	6 月 19 日 (木)	9 名
	12 月 11 日 (水)	12 名

ウ 加茂地区地域サポーター活動

小川端自治会、白岩下自治会、白岩段自治会のそれぞれの公会堂において、
高齢者ふれあいいきいきサロンを開催した。また、コミュニティ協議会や民生
委員児童委員の皆様に御協力をいただき、恒例となったしめ飾りをひとり暮らし
高齢者に届ける企画を、加茂小学校 4 年生と共に実施した。

サポーター事業を行うにあたり、コミュニティ協議会生き生き部会との合同
会議を設け、民生委員児童委員の皆様にも出席していただき、情報の共有や共
通認識を持って事業の展開を図った。

<内容・実施状況・参加人数>

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	5回開催	—
小川端サロン（対象：一人暮らしと日中一人） 12月から80歳以上に拡大）	5月22日（水） 7月30日（火） 12月19日（木） 2月1日（土）	20名 36名 34名 50名
白岩下サロン（対象：80歳以上）	6月7日（金） 9月12日（木） 12月12日（木） 2月2日（日）	40名 38名 35名 47名
白岩段サロン（対象：80歳以上）	5月28日（火） 11月6日（水） 12月24日（火） 3月3日（月）	27名 33名 26名 28名
しめ飾りをひとり暮らし高齢者に届ける企画	12月23日（月）	29名



エ 内田地区地域サポーター活動

内田地区内において、徳々サロンとひだまりの会を開催した。

徳々サロンは今年度から東平尾、平尾、西平尾の3地区でサロンを行った。

<内容・実施状況・参加人数>

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	9回開催	—
徳々サロン【東平尾】（東平尾公民館）	6月4日（火） 8月20日（火） 11月12日（火） 3月4日（火）	23名 25名 17名 22名
徳々サロン【平尾】（西平尾公民館）	5月24日（金） 8月9日（金） 11月22日（金） 2月14日（金）	28名 31名 22名 22名

内容	実施状況	参加人数
徳々サロン【西平尾】（西平尾公民館）	5月28日（火）	17名
	7月30日（火）	32名
	12月3日（火）	17名
	2月7日（金）	23名
ひだまりの会（内田地区センター）	5月16日（木）	15名
	8月15日（木）	25名
	10月17日（木）	19名
	2月20日（木）	19名



オ 河城地区地域サポーター活動

昨年度に引き続き、和田、沢水加、東富田、西富田、上倉沢、友田の6地区において、サロン活動や三世代交流事業等を実施した。

<内容・実施状況・参加人数>

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	3回開催	—
おたっしやクラブ（和田地区）	4月9日（火）	19名
	7月9日（火）	26名
	9月7日（土）	59名
	10月15日（火）	26名
	11月12日（火）	40名
	12月11日（火）	29名
	12月23日（月）	
	午前 午後	80名 80名
沢水加いきいきサロン（77歳以上）	2月2日（日）	84名
	4月13日（土）	32名
	8月18日（日）	31名
	12月9日（日）	36名
	2月8日（土）	32名

内容	実施状況	参加人数
東富田ふれあいサロン（70歳以上）	4月4日（木）	29名
	8月5日（月）	22名
	12月12日（木）	26名
	2月27日（木）	30名
	3月13日（木）	33名
西富田ふれあいサロン（70歳以上）	7月20日（土）	38名
	12月21日（土）	28名 28名
	午前 午後 2月1日（土）	35名
友田有志会	4月21日（日）	20名
	7月20日（土）	21名
	8月17日（土）	21名
	10月19日（土）	20名
	12月22日（日）	26名
上倉沢ふれあいサロン	12月8日（土）	45名
	3月3日（月）	30名



カ 横地地区地域サポーター活動

本年度は、横地茶話会を初めての試みで行った。児童との交流を考え横地小全児童に呼び掛けたが周知不足で参加者はなかった。横地いきいきサロンと横地地区センターまつりに参加し、当日の運営に携わった。

<内容・実施状況・参加人数>

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	5回開催	—
横地茶話会	6月8日（土）	28名
	12月7日（土）	15名
横地いきいきサロンへの参加	10月12日（土）	90名
横地地区センターまつりへの参加(バザー販売)	11月17日（日）	—



キ 六郷地区地域サポーター活動

六郷地区では、“ろくごう”と“65”を掛けて、セカンドライフを迎える時期の65歳の方の地域におけるネットワークづくりを目的として“ろくごうの集い”を開催した。

第1部は町部地区コミュニティ協議会と共催にて「シニアにおくる文化の集い」として「シニア演劇探検塾 劇団 あしたば」による演劇「ベッカニコおに」が行われ、第2部では「65歳の方々のレセプション」が行われた。



<内容・実施状況・参加人数>

内容	実施状況	参加人数
六郷地区コミュニティ協議会地域福祉部会	9回開催	—
ろくごうの集い	4月21日（土）	83名
サロン活動ひばりの会への運営支援	—	—
NPO 法人たすけあい遠州へ「時間通貨」視察研修	—	—

ク 平川地区地域サポーター活動

(ア) CART ひらかわサポーター

20名の地域サポーターが、平川地区にお住まいの一人暮らし高齢者（75歳以上）現在23名の見守り活動を行っている。この活動は、日常的な見守りが必要な人のちょっとした変化や異変に気づくことが重要であり、各担当地区の民生委員・児童委員、地域住民（近隣）の御協力を得て実施している。

また、高齢者が、安全・安心を確保することを目的に、万一の救急時に救命作業を敏速に行うために備える、救急医療情報キットの配布に努めている。

<内容・実施状況・参加人数>

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	12 回開催	—
平川地区みんなの交流会への参加	7 月 21 日 (日)	10 名
セントラルパーク夏祭り参加	8 月 10 日 (土)	—
平川会館まつりへの参加	11 月 17 日 (日)	—
小笠北小学校周辺の草取り、ゴミ拾い	12 月 7 日 (土)	—
平川地区の見守り運動	随時実施	—
堤サロン (堤公会堂)	6 月 24 日 (月)	5 名
	8 月 21 日 (水)	8 名
	10 月 22 日 (火)	6 名
	2 月 26 日 (水)	5 名



(イ) おいでよお平川

19名の地域サポーターが、ひらかわ会館において、高齢者の居場所づくりとなるサロンを開催した。また、「ひらかわ劇団」の活動においては、高齢者を取り巻く様々な被害を防ぐための注意点を、アドリブをふんだんに交えながら防犯の啓発を行っている。この活動は、平川地区だけではなく、市内、市外からも公演依頼があるため、積極的に公演活動を行っている。今後も高齢者にとって必要な情報提供を、菊川警察署安全課の御協力を得ながら実施していく。

<内容・実施状況・参加人数>

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	12 回開催 22 回 (寸劇練習)	—
ひらかわサロン	6 月 4 日 (火)	45 名
	9 月 24 日 (火)	49 名
	12 月 10 日 (火)	48 名
	3 月 18 日 (火)	57 名
ひらかわ劇団の公演活動	13 回	—
平川地区みんなの交流会への参加	7 月 21 日 (日)	4 名
セントラルパーク夏祭り参加	8 月 10 日 (土)	6 名
平川会館まつりへの参加	11 月 17 日 (日)	7 名



ケ 嶺田地区地域サポーター（サポーターみねだ）活動

平成 25 年度より、地域福祉推進基礎組織育成モデル事業により、みねだ地域づくり協議会の地域福祉・健康部会を地区社協と位置付けその中で、16 名の地域サポーターがみねだ会館を拠点に小地域福祉活動を展開している。

「地の神様で地域づくり」は地域で参加者を募り、世代間交流を行うとともに、地域のひとり暮らし高齢者への見守り声かけ活動の一環となるよう民生児童委員とともに地の神様を配布する事業である。

「みねだおげんき会」は、民生児童委員と協働で嶺田地区にお住まいのひとり暮らし（日中独居も含む）高齢者を対象とした集いである。

「災害時にも使える福祉見守りマップづくり」は、地区社協のメンバーの他自治会長や防災委員に参加を呼び掛け、地域で福祉的な見守り支援が必要な方を本人の同意に基いて、話し合いを行ったうえで自治会毎のマップに掲載していく事業である。25 年度は平成 23 年度に作成したものの更新を行った。

「福祉講演会」は、嶺田地区における福祉に関する学びの場として実施する事業で、25 年度は菊川市地域包括支援センターの社会福祉士による出前講座を行った。

「豆まき」は、小さな子どもからお年寄りまで老若男女多くの方が参加できるイベントとして行った。「水ようおはなし会」による節分の寸劇やクイズなどのレクリエーションにより楽しい時間を提供した。

< 内容・実施状況・参加人数 >

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	11 回開催	—
みねだおげんき会	3 回開催	延 111 名
災害時にも使える福祉見守りマップづくり	6 月 2 日 (日)	46 名
地の神様で地域づくり！！	11 月 16 日 (土)	21 名
豆まき	2 月 2 日 (日)	140 名
福祉講演会	2 月 15 日 (土)	46 名



コ 小笠南地区地域サポーター（みなみやまの会）活動

22名の地域サポーターがみなみやま会館を拠点に小地域福祉活動を展開している。

現在、「家事援助サービス事業」を開始しており、地域に住まわれる支援が必要な方に対する、家事における簡易な困りごとの支援を行っている。

また、夏休みに小さな子どもから御年配の方まで参加できる「絵手紙づくり」や地域の福祉情報やみなみやまの会の活動を掲載する「みんなみだより」の発行、みなみやま会館まつりで「地の神様づくり体験教室」を実施し、来場者への活動PR、みなみやまゆうゆうサロンに来られない方をサポートする「出前サロン」を高橋中自治会を対象に実施した。



< 内容・実施状況・参加人数 >

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	11 回開催	—
出前サロン	5 回開催	100 名
地の神様づくり体験教室	11 月 3 日 （日）	40 名
家事援助サービス事業	88 回支援	—
絵手紙づくり	7 月 28 日 （土）	25 名
みんなみだよりの発行	毎月発行	—

サ 小笠東地区社会福祉協議会（そんだもんで東）活動

平成 24 年度より、小笠東地区コミュニティ協議会のサポーター部会（小笠東地区社会福祉協議会）として、地域福祉推進基礎組織育成モデル事業のモデル地区となり、18 名の地域サポーターがくすりんを拠点に小地域福祉活動を展開している。

地域で参加者を募り「地の神様で地域づくり」、「エコバスケットで地域づくり」を実施し、世代間交流を行うとともに、地域のひとり暮らし高齢者への見守り声かけ活動の一環となるよう、民生児童委員とともに地の神様とエコバスケット（※）を配布した。また、くすりん豆まきの会やくすりん祭りへの出店等に活動された。（※プラスチック製の荷紐で作るカゴ）

また、地域サポーター、（福）和松会、小笠東小学校長、民生児童委員の参加により「小笠東地区地域福祉関係者連絡会」を実施し情報交換を行った。

<内容・実施状況・参加人数>

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	11 回開催	—
エコバスケットで地域づくり	8 月 3 ・ 17 日 (土)	延べ 50 名
地の神様で地域づくり	11 月 17 日 (土)	56 名
くすりん豆まきの会	2 月 1 日 (土)	約 300 名
小笠東地区地域福祉関係者連絡会	2 月 21 日 (金)	17 名



(4) 小地域福祉活動推進事業

小地域福祉活動コーディネーターが、小地域福祉活動を支援しその活動を活性化することを目的に、研修や情報交換のため、下記連絡会を開催した。

ア ふれあい・いきいきサロン交流会

市内には 35 か所のふれあい・いきいきサロンの運営支援を図ることを目的として、お互いのサロン運営についての情報交換とレクリエーション技術向上を図れるよう交流会を開催した。

日 時 平成 25 年 9 月 21 日（土）午後 1 時から

内 容 ① レクリエーション講座

講師 静岡県レクリエーション協会理事長兼事務局長
田井中正志 先生

② 情報交換会

場 所 プラザけやき 201 会議室

参加者 22 名



イ 地区社協情報交換会

地域福祉推進基礎組織育成モデル事業により平成 24 年度に 3 地区、平成 25 年度に 4 地区をモデル地区として地区社会福祉協議会の設置を図っており、それらの地区社会福祉協議会の運営支援を目的として、それぞれの活動についての情報交換の場を設けた。

日 時 平成 26 年 1 月 31 日（金）

午後 1 時 30 分から

内 容 各地区社協事業報告発表及び意見交換

場 所 プラザけやき 201 会議室

参加者 32 名



ウ 地域サポーターの集い

地域サポーターによる小地域福祉活動が市内各地で様々な形で実践されてきているなか、地域サポーターのモチベーションの向上やフォローアップを目的として実施した。

日 時 平成 26 年 3 月 6 日（木）午後 2 時 00 分から

内 容 講座 『聞く力 ～ 高齢者とのコミュニケーションを豊かに』

講師 静岡福祉大学 健康福祉学部 教授 西尾敦史先生

場 所 小笠東地区コミュニティセンターくすりん 会議室

参加者 22 名



(5) 地域での講座・勉強会の開催

ア 菊川市民社会福祉大学

日 時 平成 26 年 3 月 9 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

場 所 菊川市中央公民館 多目的ホール

報 告 「菊川市における高齢者、児童、障がい者虐待の実態について」

報告者 菊川市役所長寿介護課、こどもみらい課、福祉課の担当者

基調講演 「地域における権利擁護の推進にむけて」

講 師：野澤 和弘氏（毎日新聞社論説委員）



イ ふれあい健康づくり講座（レクリエーション講座）

開催日時と場所

回	開催日	場所	参加人数
1	平成 25 年 8 月 10 日（土） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分	菊川市総合保健福祉センター ＜プラザけやき＞ 201 会議室	20 名
2	平成 25 年 9 月 21 日（土） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分	菊川市総合保健福祉センター ＜プラザけやき＞ 201 会議室	22 名
3	平成 25 年 11 月 9 日（土） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分	ひらかわ会館 研修室	23 名
4	平成 25 年 12 月 14 日（土） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分	ひらかわ会館 研修室	27 名

講 師 居場所づくり研究所
代表 田井中 正志 氏



(6) 地域福祉活動等支援助成

菊川市内の福祉的な課題に取り組んでいる当事者組織や、地域で草の根的に活動をしているボランティア・市民活動団体、先駆的・開発的な事業をおこなうグループなどに対し、共同募金の配分金を財源に予算の範囲内において助成金を交付し、地域における福祉活動を支援することを目的に実施する。また交付対象者を厳正かつ公正に審査するため、本会評議員（5名）による審査会を実施した。

平成 25 年度助成団体 39 団体 ¥2,689,000

(7) 権利擁護推進委員会

菊川市における権利擁護の課題について明らかにし、今後の方策につなげていくことを目的に委員会を設置し、権利擁護推進に求められる取り組みについてまとめた。

実施内容	開催期日等	
権利擁護推進委員会	第1回委員会（平成25年 6月 10日<月>）	委員 6名
	第2回委員会（平成25年 7月 24日<水>）	委員 7名
	第3回委員会（平成25年 9月 4日<水>）	委員 7名
	第4回委員会（平成25年 11月 18日<月>）	委員 7名
	第5回委員会（平成26年 1月 24日<金>）	委員 7名

(8) 「ひきこもり」問題に社会福祉施設・団体の連携での取り組み

ア 菊川市におけるひきこもり問題支援検討委員会

「ひきこもり」はその原因状態像及び対応について多様性をもち教育や福祉医療など様々な分野からの支援が求められる。「ひきこもり」支援における基礎的な知識や情報を共有化し、「ひきこもり」の問題を抱える当事者やその家族への具体的な支援方策を検討する委員会を設置し支援方法の検討を行った。

実施内容	開催期日等	
相談居場所部会	第1回部会（平成25年 6月 6日<木>）	委員 7名
	第2回部会（平成25年 7月 31日<水>）	委員 7名
	第3回部会（平成25年 10月 15日<火>）	委員 7名
	第4回部会（平成25年 11月 15日<金>）	委員 7名

実施内容	開催期日等	
就労支援部会	第1回部会（平成25年 6月 7日<金>）	委員 9名
	第2回部会（平成25年 9月 30日<月>）	委員 9名
	第3回部会（平成25年 12月 16日<月>）	委員 9名
	第4回部会（平成26年 3月 7日<金>）	委員 9名

イ ひきこもり・不登校無料相談会

元教育相談員、スクールカウンセラー、看護師、主任児童委員等9名の方が相談員として、ひきこもりや不登校の本人や家族からの相談に応じた。

相談日時 毎月第1・第3月曜日 午後1時00分～4時00分

相談件数 46件（平成25年4月～平成26年3月）

相談実人数 不登校相談 6人 ひきこもり相談 40名 計 46名

ウ 家族支援のための学習会

(第1回)

日 時 平成 25 年 7 月 5 日 (金) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

講 演 「ひきこもりと関係しやすい精神疾患」

講 師 S C S カウンセリング研究所カウンセラー 岩田春代氏

参加者 32 名

(第2回)

日 時 平成 25 年 8 月 2 日 (金) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

講 演 「根本にある家族文化～迷う家族 家族に何が起きているのか～」

講 師 S C S カウンセリング研究所カウンセラー 池田佳代氏

参加者 32 名

(第3回)

日 時 平成 25 年 9 月 6 日 (金)

講 演 「当事者と向き合う～子どもとどう向き合うか 正しい関わり方～」

講 師 S C S カウンセリング研究所カウンセラー 三宅正之氏

参加者 29 名



エ ひきこもり家族交流会

学習会に出席された方を対象に行った。

日 時 平成 25 年 10 月 31 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

場 所 プラザけやき 乳幼児健診室

講 師 静岡福祉大学 福祉心理学科 草野智洋氏

参加者 5 名

オ セミナーの開催

日 時 平成 25 年 11 月 24 日 (土)

午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

場 所 中央公民館 多目的ホール

講 演 「ひきこもり・ニートの若者講演会」

講 師 ひきこもり・ニートの経験者または
当事者 3 名 (NPO 法人ニュースタート)

参加者 83 名



カ 菊川市における中間的就労のあり方に関する勉強会

日 時 平成 26 年 2 月 14 日（金）午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分

場 所 プラザけやき 検診ホール

講 演 中間的就労をどうするか

内 容 ①菊川市社会福祉協議会のひきこもり問題支援への取組みについて説明

②静岡県社会福祉協議会作成DVD映像視聴

③講義とワーク「中間的就労をどうするか」

講 師 津富宏氏（静岡県立大学青少年就労支援ネットワーク静岡）

④事例報告 報告者 池田佳寿子氏

（青少年就労支援ネットワーク静岡）

参加者 15 名（施設関係者 11 名、相談員 3 名、当事者家族 1 名）



（9） 民生委員・児童委員活動についての意識調査

現代社会は個人のプライバシーを尊重するあまり、他者からの干渉に極端に神経質になり他者との関わりを拒む人々も少なくない中で、民生委員・児童委員活動において様々な機関や専門職との連携や情報共有がどうなされているのかを把握することを目的にこの意識調査を行った。

実施期間 平成 25 年 10 月 1 日から平成 25 年 11 月 30 日

実施結果 調査票の回収率 87.9%

（10） 菊川市セーフティネット支援ネットワーク事業

地域において、既存制度では対応できない人、制度の狭間にいる人、生活困窮から必要なサービスを受けられない人及び重複した生活課題を抱える人等の支援を必要とする人々に対し、菊川市内の社会福祉関係機関が連携し、継続的な相談支援を行なうとともに、必要に応じて経済的援助を行ない、自立した生活を支援するために事例検討を行った。

実施内容	開催期日等	
菊川市セーフティネット支援ネットワーク事業	第 1 回委員会（平成 25 年 5 月 23 日＜水＞）	委員他 10 名
	第 2 回委員会（平成 25 年 7 月 29 日＜月＞）	委員他 8 名
	第 3 回委員会（平成 25 年 10 月 15 日＜火＞）	委員他 9 名
	第 4 回委員会（平成 25 年 1 月 23 日＜木＞）	委員他 10 名

(11)「孤立・無縁」の問題に防災・減災活動を通じて取り組む委員会

少子高齢化や核家族化の進行及び地域の助け合いの希薄化などに起因する無縁社会化の傾向は今後も高まることが予想される。また切迫性が叫ばれる東海地震への市民の関心は高く、防災・減災への取り組みも急がれているところである。

そのため、世代を超えた地域の繋がりを防災・減災活動を通じて再構築させることを目的に、「孤立・無縁」の問題に防災・減災活動を通じて取り組む委員会を設置し支援方策の検討を行った。

実施内容	開催期日等	
「孤立・無縁」の問題に防災・減災活動を通じて取り組む委員会	第3回委員会（平成25年4月10日＜水＞）	委員6名
	第4回委員会（平成25年5月22日＜水＞）	委員4名
	第5回委員会（平成25年7月29日＜月＞）	委員5名
	第6回委員会（平成25年9月30日＜月＞）	委員6名
	第7回委員会（平成26年2月5日＜水＞）	委員5名

※ 第1回、第2回は平成24年度に実施

《モデル事業》

ア 小笠東地区福祉見守りマップづくり

日 時 平成25年11月16日（土）

会 場 小笠東地区コミュニティセンター「くすりん」

参加者 35名（布引原自治会3名、丹野自治会2名、古谷自治会4名、川東自治会4名、川中自治会11名、川西自治会2名、三協自治会2名、棚草自治会2名、赤土上自治会1名、赤土下自治会3名、赤土団地自治会1名、2自治会参加なし、本委員会委員1名）



イ 地域住民による社会福祉施設への避難訓練

日 時 平成25年12月1日（日）午前9時30分～

※ 地域防災訓練と並行して実施

場 所 社会福祉法人草笛の会菊川寮

参加者 上平川自治会住民52名、

（福）草笛の会 鈴木理事長 日比野事務局長 菊川寮福田施設長
菊川寮介護福祉士

内 容 菊川寮施設見学、施設内消火設備を利用した放水訓練



(12) 集合住宅入居者への地域参加の働きかけと障がい者の地域移行の促進について考える委員会

集合住宅入居者と地域コミュニティとの関わりが薄い現状は、自治会や民生委員児童委員等の知縁系組織からの福祉的支援を受けられないことにつながり、「孤立死」「無縁死」「児童虐待」等の問題や災害時の地域での救援・救助活動にも大きな支障を生じさせることになっている。

また、障がい者の地域移行にあたっては、障がい者の収入状況や大家や周辺住民の福祉的理解も必要であることが、障がい者の地域移行が進まない原因の一部になっている。以上の課題についての連絡協議を行うとともに、集合住宅入居者の地域参加と障がい者の地域移行に関する実態調査を実施した。

実施内容	開催期日等	
集合住宅入居者への地域参加の働きかけと障がい者の地域移行の促進について考える委員会	第1回委員会（平成25年10月29日＜火＞）	委員7名
	第2回委員会（平成25年11月22日＜金＞）	委員7名
	第3回委員会（平成25年12月24日＜火＞）	委員7名
	第4回委員会（平成26年2月19日＜水＞）	委員6名
	第5回委員会（平成26年3月18日＜火＞）	委員6名



《実態調査》

ア 集合住宅入居者の地域参加に関する調査

調査対象者 市内の集合住宅（アパート等）にお住まいの300世帯

調査期間 平成26年1月から2月

回答者数 依頼数 300名 回答者数 82名 回答率 27.3%

イ 障がい者の地域生活への移行に関する調査報告

調査対象者

- (1) 入所施設を退所した障がいをお持ちの方 82 名
- (2) 入所施設にいる障がいをお持ちの方 148 名
- (3) 入所施設にいる障がいをお持ちの方の保護者（御家族） 191 名

調査期間 平成 26 年 1 月から 2 月

回答状況

- (1) 入所施設を退所した障がいをお持ちの方
＜回答者数＞ 依頼数 82 名 回答者数 76 名 回答率 92.6%
- (2) 入所施設にいる障がいをお持ちの方
＜回答者数＞ 依頼数 148 名 回答者数 128 名 回答率 86.5%
- (3) 入所施設にいる障がい者の保護者
＜回答者数＞ 依頼数 191 名 回答者数 113 名 回答率 59.2%

(13) 菊川市長への「菊川市における『地域福祉推進』への提言」報告

本会として取り組んできた「菊川市における『地域福祉推進』への提言」内容の報告を平成 26 年 3 月 20 日に太田順一市長へ行った。

＜出席者＞

菊川市長 太田 順一 氏

菊川副市長 石田 辰芳 氏

菊川市社会福祉協議会 会長 鶴田 浩

副会長 花村 晴弘

副会長 大橋 眞佐美



VII 大規模災害被災時に対応する

「災害対策本部及びボランティア支援本部立上げ」等訓練実施

大規模災害発生時に「菊川市社会福祉協議会災害対策本部」を設置し、社協の役割を明確にするとともに、関係団体と協働して「災害ボランティア支援本部」を立ち上げる。「災害ボランティア支援本部」の流れを多くの方が理解することで、地域防災力（＝地域の福祉力）を高める。また、関係機関との連携の強化を図ることで、災害時要援護者支援対策をより具体化していく。

訓練は、2 日間に分散して実施し、「災害ボランティア支援本部」の調整方法（マッチング）については、その方法を検証する。平成 25 年度については、例年どおり 1 日目に社協災害対策本部設置訓練、2 日目に「災害ボランティア支援本部」立上げ運営訓練、大型調理器具を活用した非常食の体験訓練などを実施した。

日 時 1日目 平成 25 年 8 月 30 日 (金)
 2日目 平成 25 年 8 月 31 日 (土)

会 場 プラザけやき 他市内福祉施設等へ派遣

参 加 者 141 名 (関係ボランティア、福祉施設、民生委員児童委員、防災指導員、
 中学生、市内福祉施設、各種団体、個人、行政職員、社協職員、他)

訓練内容 ・生活基盤整備訓練 (身障者用トイレ設置・炊き出し・発電機等)
 ・「災害ボランティア支援本部」立ち上げ・運営訓練 (マッチング方法)
 ・職員緊急連絡網使用訓練



VIII 相談事業

(1) 福祉総合相談事業

複雑かつ多様化する福祉ニーズに応じた総合的な相談事業を実施した。

30 代から 80 代の方の、来所及び電話相談に対応した。財産、精神保健、法律関係、苦情、離婚、家族問題、住宅、医療、職業、障害者福祉、その他の相談を受けた。関係機関からアドバイスを受け、情報提供していただくケースが多々あった。

相談日時 月～金 午前 8 時 15 分～午後 5 時 00 分

相談場所 プラザけやき

相 談 員 社会福祉協議会職員(福祉総合相談員)

相談件数 58 件 (平成 24 年度 29 件)

		平成 24 年度	平成 25 年度
相 談 件 数		29 件	58 件
処 理 状 況	解 決	4 件	7 件
	再 来	2 件	5 件
	民生委員	0 件	4 件
	他 機 関	19 件	26 件
	そ の 他	4 件	16 件

(2) 心配ごと相談事業

30代から80代の方が相談に訪れた。その中で、複数の悩みや問題を抱える相談者も多かった。相談時間は15分から180分で、主に60分の相談時間であった。財産、職業、生計、家族、精神保健、苦情に関する相談が多かった。

相談日時 毎月4回 原則1日、20日 午前9時00分～正午
5日、15日 午後1時00分～午後4時00分
場 所 プラザけやき（1日、15日） 市役所小笠支所（5日、20日）
相 談 員 民生委員児童委員12名 人権擁護委員8名
行政相談委員2名

（相談件数）

		平成24年度		平成25年度	
		プラザけやき	市役所小笠支所	プラザけやき	市役所小笠支所
相 談 件 数		34件	40件	35件	28件
処 理 状 況	解 決	2件	7件	4件	16件
	再 来	1件	5件	2件	0件
	民生委員	1件	2件	0件	0件
	他 機 関	19件	18件	14件	7件
	そ の 他	11件	8件	15件	5件

相談員研修会

平成25年7月18日（木）午後1時30分～午後3時30分 プラザけやき
内 容 ケース検討会
講 師 牧野法律事務所 弁護士 牧野 百里子 氏

平成26年2月28日（金）午前10時00分～正午 プラザけやき
内 容 講 義「相談援助技術について」
講 師 五味社会福祉士個人事務所 社会福祉士 五味 保教 氏

(3) 結婚相談事業

毎月2回の結婚相談日を設け、結婚相談所登録者からの相談に応じた。

また、月1回の定例会と年4回の四市一町結婚相談員連絡会においては、結婚相談員同士の情報交換や意見交換を行った。

同時に各市町担当者間の連携を図り、よりよい結婚相談所の運営に努めた。



相談場所 プラザけやき
 相談日時 毎月第1金曜日 午後6時00分～午後9時00分
 奇数月は「女性のための結婚相談日」
 毎月第3日曜日 午前9時00分～正午
 相談員 10名（1回の相談を2名で対応）

（相談実績）

	平成24年度	平成25年度
	プラザけやき	プラザけやき
延開催回数	24回	24回
登録者数	85名（男性64・女性21）	88名（男性68・女性20）
相談日受付件数	208件	190件
相談日外活動件数	220件	221件
見合い設定件数	77件	72件
結婚成立件数	女性1名 男性4名	女性2名 男性1名
市結婚相談員連絡会	12回	12回
4市結婚相談員連絡会	4回	4回

ア 婚活イベント開催

レクリエーションを楽しみながら、相互のコミュニケーションを図り相手と触れ合い相手を知る機会をつくった。男女18名ずつ募集をかけたが女性の応募は少なかった。この場で結婚相談所の広報を行った結果、次回の相談所への登録者の増加がみられた。



日時 平成25年8月4日（日） 午前10時00分～午後2時00分
 会場 プラザけやき 201会議室
 参加者 男性14名 女性10名（当日キャンセル男性2名、女性1名）
 結婚相談員9名
 講師 静岡県未来子育てマイスター 山下千鶴氏
 内容 レクリエーションを楽しむ

（4）日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等自分ひとりで大切な事柄の決定をすることに不安を感じている人に対して、福祉サービスの利用援助や利用料の支払い援助等を行えるよう利用者、県社協そして本会との3者契約により生活支援員による支援サービスを提供した。

＜相談件数・利用者数＞

	平成 24 年度	平成 25 年度
相談件数	757 件	950 件
利用者	11 名	11 名

IX 貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

生活に困窮している世帯などを対象に、低利な資金を貸し付けることにより、世帯の経済的自立を支援した。

＜新規貸付件数＞

貸付資金種別		平成 24 年度	平成 25 年度
総合 支 援 資 金	生活支援費	2 件	0 件
	住宅入居費	1 件	0 件
	一時生活再建費	1 件	0 件
緊急小口資金		2 件	7 件
臨時特例つなぎ資金		1 件	0 件
福祉資金		1 件	0 件
教育支援資金		1 件	0 件
計		9 件	7 件

(2) 小口資金貸付事業

生活資金が一時的に欠乏し、生活が困窮状態にあると認められる者を対象に貸付を行った。

＜貸付件数＞

貸付資金種別	平成 24 年度	平成 25 年度
小口資金	4 件	6 件

25 年度新規貸付件数 2 件

X 共同募金事業

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

社会福祉法に基づき実施される募金事業で、10 月 1 日から 12 月 31 日まで実施。菊川市における募金運動は、次の歳末たすけあい募金と併せ菊川市共同募金委員会が寄付金の募集及び管理を行った。

＜募金実績＞

	平成 24 年度	平成 25 年度
戸別募金	3,859,712 円	3,882,211 円
法人募金	1,175,884 円	1,114,844 円
その他	390,548 円	292,368 円
合 計	5,426,144 円	5,289,423 円



(2) 歳末たすけあい運動の実施

赤い羽根共同募金と同様に行われる募金運動で、12月1日から12月31日まで実施。各世帯、団体の方々より暖かい心が多数寄せられた。

＜募金実績＞

	平成 24 年度	平成 25 年度
戸別募金	1,654,162 円	1,663,801 円
その他	463,277 円	531,595 円
合計	2,117,439 円	2,195,396 円



XI 共同募金配分金事業

毎年市民から多大な協力を頂き実施する募金の配分金事業であるので、市民に還元できる事業を取り入れている。下記の(1)から(3)の他、地域でのふれあいきいきサロン活動への助成やボランティアグループ、当事者団体への活動への助成を行ない、地域福祉活動推進への支援を行った。

(1) レクリエーション用品貸出事業

市民が集う場がより楽しく交流できる場となるように、貸出用のレクリエーション用品(40種類)を整え、貸し出しを行った。

今後も市民からの要望を取り入れ、より多くの方々に楽しんで頂けるようなレクリエーション用品の貸出しを行う。

平成 25 年度貸出件数 110 件 (平成 24 年度実績 144 件)

(2) 歳末たすけあい募金配分金事業

申請方式による配分金配布を行う歳末たすけあい募金配分金事業を施行している。お寄せいただいた歳末たすけあい募金を、一人暮らしの高齢者世帯や母子家庭など援助を必要としている世帯へ、「あたたかくお正月を迎えていただ

けるように」と配分した。

配分決定世帯 41 世帯

(3) 歳末たすけあい運動助成事業

障害者自立支援法に規定する就労継続支援B型事業所（以下、事業所）の工賃が低く利用者の生活も大変であるという現状を踏まえ、歳末たすけあい運動の趣旨に基づき、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるように、事業所に通う菊川市に住所を有する方と事業所に対し助成を行った。

事業所利用者 92 名 事業所 4ヶ所

XII ボランティア活動事業

ボランティア活動の一層の推進を図り、地域住民の地域福祉への参加を進めることは、活力ある地域社会を構築していくために欠かせないものである。

ボランティアの養成・研修を行い、ボランティア活動者の育成を図るとともに、一般住民への啓発、ボランティアの登録、需給調整、ボランティア活動の円滑な推進のための情報収集と提供、ボランティアグループや市民からの活動に関する相談を受け、ボランティア相互の連絡調整等を行うことにより活動の支援強化に努めた。

(1) ボランティアの育成・研修のための講座開催及び小中高校生のボランティア体験の支援・援助

ア 福祉有償運送運転者講習会

日 時 平成 25 年 6 月 11 日（火）

午前 9 時 30 分から午後 3 時 50 分

平成 25 年 6 月 12 日（水）

午前 9 時 00 分から午後 3 時 20 分

会 場 プラザけやき

松秀園、菊川総合自動車学校

内 容 福祉有償運送運転に関わる講義および演習

講 師 東遠学園職員、和松会職員

菊川総合自動車学校職員

菊川市社会福祉協議会職員

参加者 14 名（一般 7 名、施設職員 7 名）

イ 福祉施設におけるボランティアマネジメント研修

日 時 平成 25 年 7 月 17 日（水）午前 10 時 30 分～午後 4 時 30 分

会 場 プラザけやき

内 容 ボランティアマネジメントに関する講義、グループワーク

講 師 疋田恵子氏

(日本ボランティアコーディネーター理事)

参加者 12 名

ウ 映画上映会（ボラ連との共催事業）

日 時 平成 25 年 10 月 6 日（日）午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分

会 場 プラザけやき

内 容 映画上映「石巻市立湊小学校避難所」

参加者 68 名

エ “訪問や地域活動”の際の「傾聴力」養成講座

日 時 平成 26 年 3 月 7 日（金）午前 9 時 30 分～正午

会 場 プラザけやき

内 容 講義「傾聴の基本と訪問や地域活動における傾聴の意味と意義」

講 師 静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科 准教授 川島貴美江氏

参加者 55 名

オ 視覚障がい者の方たちとの「ふれあい交流会」

日 時 平成 26 年 3 月 8 日（土）午前 10 時から午後 3 時

会 場 プラザけやき 等

内 容 講話「視覚障がい者の生活

演習「介助方法や介助時の留意点」

昼食の買い物(移動介助体験)

昼食（食事介助体験）

交流「視覚障がい者用ゲームの紹介・

レクリエーション」

講 師 菊川市身体障害者福祉会 視覚障がい者部・さくらんぼ

参加者 1 名（高校生）

(2) ボランティアの登録、需給調整

<実績>

平成 24 年度	平成 25 年度
157 件	114 件

(3) ボランティア保険加入促進

安心してボランティア活動に取り組むための保険について、社協だよりやホームページでの広報情報提供をした。

ア ボランティア活動保険（その他グループ、個人） 計 3,339 名
（保険金請求件数 3 件）

イ ボランティア活動保険天災タイプ (保険金請求件数 1 件)	計 71 名
ウ 福祉サービス総合保険	4 件
エ 送迎サービス補償	3 件
オ ボランティア行事保険	10 団体 54 件

(4) 障がい児（者）等との交流事業

ア ふれあい交流事業

高校生ボランティアグループ「プーさん」の自主事業として、下記の事業を実施した。

1回目 障がい児との交流「七夕まつり」

日 時 7月7日（日）午後1時30分から午後3時30分

会 場 プラザけやき

内 容 お楽しみゲーム、七夕飾り、おやつタイム 等

2回目 ひらかわみんなの交流会

日 時 7月21日（日）午後1時30分から午後3時30分

会 場 ひらかわ会館

内 容 来場者を対象とした飲み物販売（売上金をユニセフに寄付）

3回目 小笠児童館夏祭り「わくわくフィッシング」

日 時 7月28日（土）午後2時30分から午後8時

会 場 小笠児童館

内 容 来場者を対象とした釣りゲームコーナー



(5) ボランティアグループの育成・支援

各グループの活動において、必要に応じて以下のような関わりを持った。

ア 外部からのニーズ（ボランティア参加や活動 依頼等）とグループ間との調整を行った。

イ ボランティアグループの行う事業に対し、外出運転ボランティア、演奏ボランティア等の調整を行った。

ウ ボランティアグループにおけるボランティア募集の調整を行った。

エ ボランティアグループの運営上の課題や問題に関する相談に応じた。

- オ ボランティアグループの研修先の連絡調整、研修の紹介を行った。
- カ ボランティアグループの活動について広報、ボランティアの調整を行った。
- キ 必要に応じてボランティアグループの会議に参加した。
- ク 活動資金、機材を必要とするグループに企業、財団等の助成金情報を提供した。活動奨励 2 グループが決定した。

(6) ボランティア連絡協議会「ゆう&あい菊川」への支援
事業推進のための関係機関との連絡調整や情報提供を行った。

理事会 年 8 回開催
 総 会 4 月 17 日 (水) プラザけやき ボランティアセンター
 交流研修会 8 月 11 日 (日) ~12 日 (月)
 長野県小谷村ボランティア連絡会との交流・砂防ダム見学
 映画上映会 (ボラ連とボランティアセンター共催事業)
 10 月 6 日 (日) 映画「石巻市立湊小学校避難所」
 交流会 2 月 15 日 (土)

(7) NP0 活動への支援
NP0 の活動に関する相談を受け、必要に応じて地域支援課と連絡を取り合い
情報提供を行った。

(8) 児童生徒のボランティア活動
平成 23 年度開催の福祉教育推進会議を受け、菊川市教育委員会ボランティア
活動支援センターと協働・協力し、2 年目となる次の事業を行った。

ア 事前事後学習の推進
事前事後学習マニュアルを作成し、児童生徒のボランティア受け入れ先
に対し、事前事後学習の実施を依頼した。

イ ボランティア担当者会 (主催：菊川市教育委員会) への参加

- 1 回目 平成 25 年 4 月 23 日 (火)
事前事後学習推進説明および依頼
- 2 回目 平成 26 年 2 月 28 日 (金)
事前事後学習実施報告
講話「事前学習の意義と評価」
講師 和松園 板倉幸夫氏



ウ 事後学習会の開催
 日 時 9 月 29 日 (日) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分
 会 場 プラザけやき

内 容 講話「社会は夢ある若者を待っている」 長田治義氏
講話「ボランティアって？」 大塚さおり氏
ボランティア活動実施 等
参加者 46 名

エ 児童生徒のボランティア活動の受入先および活動者調整
受け入れ先 10 団体 活動者数 59 名

(9) その他

- ア 市内福祉施設・地域高齢者サロンへのボランティア(主に趣味を活かしたボランティア)の調整を行った。
- イ 市教育委員会ボランティア体験活動支援センターの小・中・高校生のボランティア募集に関して協力した。
- ウ 古切手・使用済みプリペイドカードの外部団体への送付・寄贈を行った。
- エ 講座・社協事業のアンケート結果による「ボランティア活動希望者」に直接連絡を取り、活動に結びつけた。

XⅢ 精神障がい者組織化支援交流事業

(1) 精神障がい理解普及啓発交流事業 ふれあい企画

若年層(主として高校生)の精神障がいに対する理解を深めようと、特定非営利活動法人Mネットとの共催において行った。

開催日時 1回目:平成25年6月2日(日) 午前9時から午後12時30分
2回目:平成26年1月18日(土) 午前9時から午後12時30分

開催場所 プラザけやき201会議室、栄養指導室、東名菊川インター

内 容 講話、交流レクリエーション、花植え、
レンガアート、調理活動を通じた交流

参加者 1回目:学生18名、総勢56名
2回目:学生8名、総勢44名

協力 NEXCO中日本、菊川市花の会、
静岡県立小笠高等学校、あしたばの会、
ジョイントサークルかたくり、水掛けボランティア



(2) 精神障がい交流事業 グラウンドゴルフ・スカットボール大会

近隣当事者の交流および組織化を支援するため、掛川市社協、御前崎市社協と共催で実施した。

開催日時 春の大会 平成25年5月16日(木)
秋の大会 平成25年11月7日(木)
午前10時30分～午後2時30分

開催場所 御前崎市比木体育館・運動場
22 世紀の丘公園「たまり～な」大研修室
参 加 者 春の大会 126 名
秋の大会 141 名
協 力 あしたばの会、ふきのとう、やすらぎ会、
ジョイントサークルかたくり、民生委員児童委員協議会
菊川市・掛川市・御前崎市内のデイケア、社会復帰施設
菊川市・掛川市・御前崎市福祉課

(3) 精神障がい者ボランティアクラブ「しおり作り」

障がい当事者が行うボランティア活動として、地域活動支援センターMネットと協力体制のもと開催した。作成したしおりは、菊川市立図書館に配布した。

開催日時 毎月第 4 水曜日
午後 2 時 30 分から午後 4 時 30 分
開催場所 プラザけやき
参 加 者 37 名

XIV 各種福祉団体の指導育成事業

(1) 福祉団体

ア 菊川市老人クラブ連合会
イ 菊川市身体障害者福祉会
ウ 菊川市遺族会
エ 菊川市母子寡婦福祉会
オ 菊川市手をつなぐ育成会

(2) 民生委員児童委員協議会

民生委員児童委員協議会と連携をもち、行政及び関係機関との情報交換、民生児童委員活動調査等への協力を求め、地域福祉の推進を図った。菊川市民生委員児童委員協議会（菊川市、菊川東地区、菊川西地区、小笠地区）事務局として、総会及び定例会等に参加した。

(3) その他の団体

重度障がい者及び当該家族が当面する問題点を関係機関及び関係団体との関係を密にして援護事業を行った。

ア 障がい児学童保育「フレンズ つばさ」への支援

XV 慰霊祭

小笠地区慰霊祭の開催。神式と仏式を交互に1年ごと実施しており、25年度は神式での慰霊祭を行った。

日 時 平成25年10月3日（木）午前9時00分～

会 場 菊川市総合体育館

参列者 236名

（平川地区36名、嶺田地区27名、小笠南地区18名 小笠東地区40名、
来賓79名、靖国和讃奉仕者15名、神官3名 社協職員10名 福祉課職員6名、写真ボランティア2名）



XVI 福祉車両貸出事業

平成25年度福祉車両貸出実績（H24実績 260件）（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	10	17	18	26	30	20	38	19	21	22	17	25	263

公共交通機関を利用することが困難な歩行障がい者（車いす生活者、高齢者）の病院、施設への送迎及び社会参加の為に特殊車両（スロープ、リフト付）の貸出を行い、55名が利用された。

運転者が不在の方は、ボランティアグループ「いちご会」の送迎を利用された。

XVII 福祉有償運送事業

平成25年度 運行実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	8	10	17	16	20	25	29	19	31	23	20	19	237

菊川市に在住するひとり暮らしで身体の不自由な高齢者、身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者で、移送手段を確保することが困難なため、医療、福祉施設等本人が希望するサービスの利用や外出等が困難な人に対して、福祉有償運送事業を実施した。

3 在宅福祉サービス事業

◎ 高齢者福祉事業

I 生きがい活動支援通所事業

○ いきいきサロン

菊川市内に居住する 65 歳以上の高齢者で、介護保険の要介護認定を受けていない者、介護保険の要介護認定において「自立」と判定された者で介護予防の必要な高齢者を対象とし、健康体操・レクリエーション・手工芸等の活動提供をすることにより、社会的孤立の解消や生きがいづくりと心身の健康増進を図った。

プラザけやき会場で火曜・水曜・木曜・金曜の週 4 日、東部ふれあいプラザ（潮海寺）会場で月曜・水曜・金曜の週 3 日開催をした。

《 いきいきサロンけやき 》

開催日時 毎週火曜・水曜・木曜・金曜 午前 10 時 00 分～午後 2 時 00 分
会 場 プラザけやき

	平成 24 年度	平成 25 年度
	プラザけやき	プラザけやき
利 用 者 数	621 人 男性 (12) 女性 (50)	548 人 男性 (12) 女性 (51)
延 利 用 者 数	2,044 人	1,909 人
年 間 開 催 日	199 日	199 日
1 日平均利用者数	10.2 人	9.6 人

《 いきいきサロン東部 》

開催日時 毎週月曜・水曜・金曜 午前 10 時 00 分～午後 2 時 00 分
会 場 東部ふれあいプラザ（潮海寺）

	平成 24 年度	平成 25 年度
	ふれあいプラザ	ふれあいプラザ
利 用 者 数	25 人 男性 (0) 女性 (25)	25 人 男性 (1) 女性 (27)
延 利 用 者 数	947 人	977 人
年 間 開 催 日	143 日	143 日
1 日平均利用者数	6.6 人	6.8 人

Ⅱ 生活管理指導員派遣事業

社会適応が困難な高齢者に生活管理指導員を派遣し、日常生活に対する指導と支援を行い要介護状態への進行の予防を図った。

	平成 24 年度	平成 25 年度
開催場所	プラザけやき	プラザけやき
派遣世帯数	18 世帯	13 世帯
延派遣回数	565 回	397 回
延派遣時間	565 時間	397 時間

Ⅲ 高齢者配食サービス事業

高齢者のみの世帯で、調理が困難であり食事の提供が受けられない状況にある高齢者に対して食事を配達し、食生活の改善と健康増進を図るとともに安否確認を行い在宅高齢者への見守り支援に努めた。

	平成 24 年度	平成 25 年度
	プラザけやき	プラザけやき
延配食数	2,066 食	1,832 食

Ⅳ 外出支援サービス事業

	平成 24 年度	平成 25 年度
延回数	4,182 回	3,890 回
移送（病院）	107 回	90 回
生きがい活動送迎	4,075 回	3,800 回

Ⅴ 機能訓練事業

病気、怪我等によって心身の機能が低下している者に対し、日常生活の基本動作の維持のために、理学療法士の作成したプログラムに基づく機能訓練事業を行うとともに、訓練に関わる者同士の交流を図り社会参加の機会を確保することを目的とする事業である。

社協独自の事業として実施し、介護保険でフォローしにくい若い世代（40 歳以上 64 歳以下）に対応し、延 54 名の利用があった。利用者の中には自宅での運動を行うようになり幅広い活動への参加をするようになった者もいる。

○対象者

	平成 24 年度	平成 25 年度
対象者数	4 人 男性（4） 女性（0）	2 人 男性（2） 女性（0）

○日 時 毎週月曜日 午前 9 時 00 分～午前 11 時 00 分

VI 福祉用具貸付事業

福祉用具の貸与を行った。高齢者から若年者まで、幅広い年齢層で利用があった。地域包括支援センターや病院、ケアマネジャー等の関係機関からの問い合わせや紹介も多数ある。今後も関係機関と連携をとりながら、福祉用具を必要とされる方の支援を行っていく。

《年間利用実績》

貸与機種	貸付台数	
	平成 24 年度	平成 25 年度
介護用ベッド	13 台	16 台
車椅子	139 台	130 台
リクライニング車椅子	0 台	1 台
シャワーチェアー	7 脚	8 脚
浴槽内イス	5 脚	1 脚
浴槽手すり	6 台	4 台
歩行器	1 台	4 台
四点杖	7 本	11 本
ポータブルトイレ	20 台	14 台
その他	0 台	1 台

◎ 障害者福祉事業

ガイドヘルパー派遣事業

菊川市内に居住する重度視覚障がい者が、菊川市身体障害者福祉会及び視覚障がい者部会の会議、旅行等の行事にて外出の際、障がい者から申請を受け派遣し、福祉の増進を図った。その他、よりよい事業運営のため、ガイドヘルパー派遣事業連絡会を開催した。

総派遣人数 34 人（平成 24 年度 31 人）

総派遣時間 158 時間（平成 24 年度 161.5 時間）

重度視覚障がい者ガイドヘルパー登録者 21 名

4 菊川児童館

《平成 25 年度運営方針》

児童館は、18 歳未満のすべての子どもを対象とし、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身共に健やかに育成することを目的とする。この目的達成のため、気軽に来館できる雰囲気作りを職員一同心がけ、親子・大人・子ども同士の出会いと交流が自然にうまれる場となるよう努めた。

0 歳児から就園前の 4 クラス（月齢別）の会員制親子教室を毎月の申込制に変更し、製作遊び・リズム遊び・読み聞かせ・運動・体験等の内容に分け、月ごとに選んでいただき、親子のニーズに合わせて参加できるように配慮した。また、児童館利用が少ない方や菊川市に転入してまだ日が浅い親子を対象に“情報交換会”を行い、菊川市の良さをアピールして来館促進につなげた。

◎ 年間利用者数

31,782 人（前年度より 621 人増）

◎ 利用時間

午前 9 時～午後 4 時 30 分

◎ 休館日

日曜日・月曜日・祝祭日・年末年始

《実践報告》

（1）どなたでも参加の事業

ア にこにこタイム

日時/火曜日～木曜日（長期休暇を除く）午前 11 時 15 分～午前 11 時 45 分

- ・ 月 1 回「にこにこ工作」
- ・ 月 1 回「にこにこ誕生会」

内容/親子体操・手遊び・歌遊び・読み聞かせ等を通して親子や来館者同士のふれ合いを楽しんだ。子育て支援センターを含む職員 4 名の個性を生かした手遊びを取り入れ、親しみやすさをアピールした。「にこにこ工作」では季節に合った簡単な製作遊び「にこにこ誕生会」では誕生月の子ども・保護者を来館者みんなで祝う活動を取り入れた。

年間参加者数/ 2,313 組

イ 特別企画

内容/季節の行事を親子で楽しみ、多くの人々と交流し、楽しい思い出を作った。

月 日	活 動 内 容 (出演者等)	参加者
5 月 18 日 (土)	こどものつどい (小笠高校吹奏楽部による親子で楽しめる演奏鑑賞会)	300 人
8 月 2 日 (金)	夏のおたのしみ会 (ミッキーのパフォーマンスショー) パフォーマンスラボ	300 人
9 月 28 日 (土)	常葉菊川高校ステージパフォーマンスショー (ダンス部、合唱部、チア部、演劇部)	120 人
10 月 8 日 (火)	秋のおたのしみ会 (ポコアポコアンサンブルによるステージ)	150 人
12 月 7 日 (土)	クリスマス会 (菊川吹奏楽団によるクリスマス演奏会・ベル演奏・パネルシアター・民生委員によるサンタクロース登場等)	170 人
12 月 24 日 (火)	常葉菊川高校 クリスマスステージ (演劇部による読み聞かせ、音楽専攻の生徒によるステージ)	141 人
1 月 31 日 (金)	ちびっこ節分 (みんなで踊ろう「オニのパンツ」・人形劇・豆作り・鬼退治等) こどもみらい課2名による鬼登場	280 人

ウ ウェルカム！児童館 ～ママのための情報交換会～

対象/児童館利用が少ない方、ママ友を作りたい方、菊川市に転入してまだ日が浅く情報を知りたい方

内容/児童館の利用案内・事業説明、タウン情報、子育て関係情報、自己紹介ゲーム、座談会等

月 日	参 加 者
4 月 9 日 (火)	16 組
5 月 15 日 (水)	12 組
6 月 19 日 (水)	7 組
7 月 10 日 (水)	2 組
8 月 30 日 (金)	11 組
9 月 11 日 (水)	9 組
10 月 9 日 (水)	7 組
11 月 20 日 (水)	9 組
12 月 10 日 (火)	12 組
1 月 15 日 (水)	5 組
2 月 19 日 (水)	7 組
3 月 12 日 (水)	11 組

*子育て支援センターの職員を含めた全職員（4人）で対応し、児童館利用案内・子育てへの利点等を説明した。また、菊川市商工会・菊川市商工観光課

に出向き、各種パンフレット（観光案内・イベント情報等）を提供していただき、菊川市の住みよさや子育てしやすさをアピールした。各種パンフレットはファイルに綴じ込んで見やすいように工夫し、持ち帰りとした。参加記念品もプレゼントし、楽しい雰囲気作りに努めた。この事業に参加したことがきっかけとなり、お母さん同志の交流が生まれ頻繁に来館するようになった親子があった。2回参加で卒業とした。

（２）未就園児親子対象事業

ア ふれあいタイム（毎月の申込制）

「作って遊ぼう（親子製作遊び）」

月 日	活 動 内 容	参加者
5 月 30 日(木)	小麦粘土遊び	2～3 歳児親子 11 組
9 月 5 日(木)	牛乳パックで作るうさびょんぽっくり	2～3 歳児親子 21 組

「リズムで遊ぼう（親子リトミック遊び）」

月 日	活 動 内 容	参加者
5 月 9 日(火)	ピアノやCDの音楽に合わせた親子での リズム遊び・模倣遊び (講師：リトミックランド)	2～3 歳児親子 15 組
5 月 29 日(水)		0 歳児親子 24 組
6 月 6 日(木)		2～3 歳児親子 22 組
6 月 26 日(水)		0 歳児親子 22 組
7 月 4 日(木)		2～3 歳児親子 24 組
10 月 17 日(木)		0 歳児親子 25 組
11 月 5 日(火)		2～3 歳児親子 21 組
1 月 24 日(金)		0 歳児親子 16 組
2 月 6 日(木)		2～3 歳児親子 27 組
2 月 27 日(木)		0 歳児親子 23 組

「おはなし広場（絵本読み聞かせ講座）」

月 日	活 動 内 容	参加者
9 月 10 日(火)	絵本読み聞かせ講座	0～3 歳児親子 18 組
10 月 3 日(木)	講師：水ようおはなし会	0～3 歳児親子 25 組

「わんぱく広場（親子で運動遊び）」

月 日	活 動 内 容	参加者
4 月 16 日(火)	初めましての会（手遊び、歌遊び、親子ゲーム、自己紹介ゲーム）避難訓練	0～3 歳児親子 28 組
4 月 18 日(木)	初めましての会（手遊び、歌遊び、親子ゲーム、自己紹介ゲーム）避難訓練	0～3 歳児親子 30 組

5月23日(木)	親子体操、手遊び、ふうせん遊び、お花がみ遊び等	1歳児親子29組
6月25日(火)	親子体操、手遊び、小型バルーン遊び、ボール遊び、花吹雪遊び	1歳児親子24組
10月30日(水)	親子3B体操(ボール、ベル、ベルターを使 っての遊び) 講師:3B体操協会	1歳児親子22組
1月14日(火)	タオルで遊ぼう(いないいないばあ、引っ張 りっこ、ボールにして、結んでへび、電車ごっこ)	2歳児親子20組
1月21日(火)	バスタオルで遊ぼう(こま回し、タオルそり、タ オルマント、かくれんぼ) アニマル電車、花吹雪	3歳児親子11組
1月30日(木)	親子3B体操(ボール、ベル、ベルターを使 っての遊び) 講師:3B体操協会	1歳児親子24組
3月6日(木)	親子体操、手遊び、パネルシアター、 タンバリン遊び、アニマル列車	1歳児親子22組
3月19日(水)	運動遊び(講師:気のいいひつじ達より2名)) ふじの国ファミリープレイプログラム事業	2~3歳児21組

「親子体験」

月 日	活 動 内 容	参加者
6月11日(火)	親子で虫歯予防 (講師:杉山寛子さん)	0~3歳児親子22組
7月9日(火)	親子で交通安全・警察車両と記念撮影 (講師:菊川警察署、J A F)	0~3歳児親子23組
7月18日(木)	親子で救急法・救急車両と記念撮影 (講師:菊川消防署)	0~3歳児親子30組
9月24日(火)	親子で交通安全・警察車両と記念撮影 (講師:菊川警察署、J A F)	0~3歳児親子28組
10月24日(木)	親子で救急法・救急車両と記念撮影 (講師:菊川消防署)	0~3歳児親子30組
2月4日(火)	親子で虫歯予防 (講師:杉山寛子さん)	0~3歳児親子24組

*毎月確実に参加できる方が申し込むため、急な体調不良を除いては欠席が少なかった。会員制ではないので、引っ越してきた方も参加しやすく、参加案内もしやすかった。また内容を選んで参加できるので、ニーズ把握にもなった。

イ 水遊び

簡易プールによる水遊び。3回実施し、40組親子が参加した。

(3) 小学生対象事業

ア 土曜クラブ

月 日	内 容	参加者
4月20日(土)	工作(プラ版でキーホルダーづくり)	14人
5月11日(土)	クッキング(グリとグラの黄色くて大きなカステラづくり)	24人
6月15日(土)	工作(父の日のプレゼント・マグカップづくり)	32人
6月29日(土)	クッキング(桃太郎のきび団子づくり)	31人
7月13日(土)	クッキング(こねこねパンづくり) 講師:平松純さん	30人
9月7日(土)	工作(敬老の日のプレゼントづくり)	26人
11月9日(土)	クッキング(スノーボールを作ろう)	30人
12月21日(土)	クッキング(ブッシュドノエルを作ろう)	31人
2月1日(土)	クッキング(チョコレートの甘いお菓子作り)	30人
2月15日(土)	レッツ!ダンス(初心者向けダンス) 講師:長谷山高士さん	20人
3月1日(土)	クッキング(いちご寒天スイーツを作ろう)	19人

イ 夏休み教室

月 日	内 容	参加者
7月31日(水)	親子クッキング(講師:関明子さん)	30人
8月1日(木)	親子クッキング(講師:関明子さん)	30人
8月3日(土)	体験教室(エッグドロップコンテスト)	16人
8月8日(木)	工作教室(ラップの芯で万華鏡)	16人
8月20日(火)	工作教室(牛乳パックぽっくり)	12人
8月23日(金)	工作教室(ランチョンマット)	20人

(4) 小中学生対象事業

ア ボランティアクラブ「スマイル」 (登録制)

対象/市内の小学生(4年生以上)6名・中学生1名

日時/土曜日 午後2時~午後3時

内容/児童館活動補助を中心に子ども自身による活動を行い、ボランティア活動の楽しさを味わった。

月 日	活 動 内 容	参加者
5月11日(土)	自己紹介・年間計画の確認	7人
5月18日(土)	特別企画「子どものつどい」補助	5人
6月22日(土)	中部デイサービス訪問準備・おもちゃの消毒	3人
7月27日(土)	中部デイサービス訪問・特別企画打ち合せ	5人
8月2日(金)	特別企画会場準備・補助・片付け	4人
9月14日(土)	特別企画(秋のお楽しみ会)ポスター作り	5人
10月26日(土)	赤い羽根共同募金 台風により中止	

11月30日(土)	クリスマス会準備(ベル練習・プレゼントの袋詰め)	4人
12月7日(土)	クリスマス会ベル演奏・入場整理等	3人
1月25日(土)	児童館壁面作り補助(お花がみ)	3人
2月15日(土)	おもちゃの消毒・反省会の打ち合わせ	4人
3月15日(土)	反省・交流会	6人

イ 将棋クラブ (登録制)

初級コース 9:30～10:30

中上級コース 10:30～11:30

月 日	講 師 (ボランティア)	参加者
4月13日(土)	津島義高さん 山本恵一さん 有海秀明さん 望月誉之さん 森川浩一さん 藪崎恭男さん	20人
5月25日(土)		18人
6月8日(土)		19人
7月6日(土)		18人
9月14日(土)		17人
11月2日(土)		13人
12月14日(土)		18人
1月18日(土)		16人
2月22日(土)		22人

ウ 小中学生プレイルーム

対象/市内外の小・中・高校生どなたでも

日時/土曜日・長期休暇(春休み・夏休み・冬休み) 午後1時～午後4時30分

第2土曜日(おもちゃ図書館開館日)はお休み

学校が半日授業で小・中学生の来館が多い場合は随時開催した

内容/土曜日・長期休暇の地域の小・中学生の健全な遊び、仲間とのかかわりの場となるように卓球台、ビリヤード、キッカーボード、各種ゲームをそろえ、交流できる居場所づくりに努めた。

【年間参加人数】 2437人(月平均 203人)

(5) 高校生対象事業

ア 高校生と赤ちゃんとの交流事業

目的/高生が赤ちゃんとのふれあいから自分の存在・家族のことを考え直し、自分の生命が両親から多くの愛情と慈しみを与えられていることを実感させたい。赤ちゃんの親にとっては、高生に我が子の未来の姿を重ね合わせ、日々の子育てを振り返るきっかけになり、育児不安や虐待の予防につなげたい等、相互効果を期待し開催した。

月 日	内 容	参加者
9月7日 (土)	事前学習（常葉菊川高校にて） 赤ちゃんの成長について・プレゼント工作等	高校生 30 人 (山下・増田)
9月21日 (土)	交流事業（菊川児童館にて） 手遊び・歌遊びを通しての赤ちゃんとの交流	高校生 30 人 乳児親子 30 組

イ 空手体験教室

対象/小笠高校吹奏楽部 44 人

日時/5月18日（土） 11：30～12：00

内容/空手の正しい形、組手の基礎等

講師/塚本真由佳さん

（6）相談支援事業

内容/職員は来館者とのコミュニケーションを大切にし、気軽に声をかけやすい雰囲気作りに心がけた。相談内容に応じ、専門機関に引き継いだ。

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	3	26	9	13	19	13	14	12	10	19	13	20	171
電話	4	5	6	20	5	6	0	0	1	0	0	0	47

(子育て支援センター事業相談件数と重複)

（7）ボランティア活動支援

おもちゃ図書館「あそぼ」

おもちゃ図書館とは、心身に障がいを持つ子ども達が、おもちゃを通して遊ぶ楽しさを知り、多くの仲間と出会うことによって生き生きと成長していくことを促す場である。児童館は、ボランティアグループおもちゃ図書館「あそぼ」の活動支援を行い、開館準備・運営・片付け等の支援を行なった。

日時/月 1 回 第 2 土曜日 午前 10 時～午前 11 時 30 分 午後 1 時 30 分～午後 4 時
年間利用者数

子ども（内 障がい児）	大人	ボランティア	計	貸し出しおもちゃ
176 人（77 人）	121 人	87 人	384 人	53 点

（8）地域連携

ア 中・高校生ボランティア受け入れ

菊川市ボランティア体験活動受け入れ（42 人）

おもちゃ図書館ボランティア受け入れ

イ 勤労（職場）体験学習受け入れ

菊川西中学校 （8 月） 1 人×3 日間

菊川東中学校 （9 月） 4 人×3 日間

ウ 実習生受け入れ

名古屋市立大学（1名）

静岡英和学院大学（1名）

常葉短大（1名）教育実習

インターンシップ受け入れ（東海短大1人）

エ 施設見学受け入れ

菊川東中学校施設見学（19人）

堀之内小学校2年生（42人）

藤枝市視察受け入れ（30人）

オ 子育て情報パンフレットコーナー設置

カ 絵本の貸し出し

図書室の絵本を貸し出し、家庭での読み聞かせや児童館利用の推進につなげた。

キ リユースコーナー設置

不要になった育児用品を捨てずに必要な人に使ってもらうことを目的とする「リユース掲示板」の設置（広報菊川・社協だよりに提供依頼掲載） 48組参加

ク みんなの広場（職員・来館者による情報提供の場）

ケ 職員会議（月1回）

小笠児童館・菊川児童館の月ごとの事業報告、確認事項の検討

コ 菊川市ボランティア担当者会議参加

サ 菊川市食育連絡会参加

シ 静岡県西部地区児童館連絡会事務局（24年度・25年度）

ス ひきこもり・不登校サポート支援への場の提供（月2回、月曜日の午後）

セ 精神障がい者のボランティア活動の場としての支援（水曜日 11:00～12:00）

ソ 職員研修

月 日	内 容
5月21日(火)	静岡県おもちゃ図書館連絡会 理事会
6月13日(木)	西部地区児童館連絡会 総会・研修会（中央公民館）
9月20日(金)	静岡県児童館連絡会 児童厚生員研修会(裾野市)
10月10日(木)	西部地区児童館連絡会 実技交流会(中央公民館)
10月21日(月)	全国館長研修会（東京）
11月1日(金)	静岡県児童館連絡会 館長研修会(裾野市)
1月16日(木)	西部地区児童館連絡会 実技研修会(中央公民館)

（9）安全管理

ア 安全点検・・・館内における安全対策として施設・固定遊具等の日常の安全点検と月一回の定期安全点検を実施、点検結果に応じ事後処置を講じるとともに、社会福祉協議会・こどもみらい課に報告した。

イ 安全指導・・・児童館でのルールや遊具の使い方等、事故防止のための指導

を行った。入館者名簿は確実に記入していただき、帰宅する小学生には名簿に印を押すこと、来館者親子には入館者名簿に帰宅時刻を記入することをお願いし、来館者状況の把握を行った。

- ウ 安全対策・・・受付にて来館者チェック、初めての来館者への施設利用案内、日常的な見回りと声かけを実施した。災害対応マニュアルを作成し、事業開催中での避難訓練を行った。非常時に備えて、救急用品の充実を図った。また、社協防災訓練に参加した。

平成 25 年度 菊川児童館 年間入館者数

(単位：人)

月 (日数)	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計	ボランティア	市外	組
4 月 (21 日)	198	743	306	77	0	815	2,139	15	132	777
5 月 (21 日)	266	804	256	43	89	1,069	2,527	55	92	962
6 月 (21 日)	357	1,066	284	30	3	1,302	3,042	61	146	1,192
7 月 (22 日)	355	1,064	465	42	4	1,236	3,166	36	166	1,200
8 月 (23 日)	271	1,211	818	129	12	1,243	3,684	30	310	1,183
9 月 (20 日)	389	943	227	34	100	1,223	2,916	48	155	1,104
10 月 (22 日)	374	1,121	91	0	1	1,306	2,893	32	179	1,239
11 月 (21 日)	251	905	179	12	4	979	2,330	39	160	911
12 月 (20 日)	228	771	323	27	45	894	2,288	99	83	786
1 月 (20 日)	325	884	115	4	0	1,041	2,369	33	103	964
2 月 (20 日)	228	732	210	15	0	857	2,042	46	87	786
3 月 (20 日)	271	862	287	19	0	947	2,386	33	130	913
合計 (248 日)	3,513	11,106	3,561	432	258	12,912	31,782	527	1,743	12,017
月平均	293	926	297	36	22	1,076	2,649	44	145	1,001
1 日平均	14	45	14	2	1	52	128	2	7	48

5 小笠児童館事業

平成 25 年度運営方針

25 年度は移転して 2 年目を迎えた。たよりや学校へのチラシ、活動のポスターの掲示などまだまだ利用したことのない人への PR をしたり来館してくれている人に周りの人を誘ってもらうように声を掛けてきた。

小・中学生の活動では、長期休暇に開催している“小中高生デイ”の日程を増やしてのびのび遊べる日を多く、普段できない遊びを設定することで子供たちの居場所としての魅力を作ったり移動児童館でも小学生の遊びを PR し誘ってきた。乳幼児の活動では活動しやすいように回数を増やして内容を検討しながら充実を図ってきた。また活動のお知らせをわかりやすく掲示したり声をかけたりすることで皆さんへの周知と参加を促した。

25 年度は職員も 1 名増員になり 4 名体制になったことで今まで以上に来館者とのかわりがもてるようになったので、気軽に声をかけてもらえるように努め小学生・中学生の遊びの場としてや居場所として、またお母さんお父さん、おばあちゃんやおじいちゃんなどの身近な支援の場としての役割を充実させたいと心がけてきた。

◎ 年間利用者数

28,315 人 （昨年度より 214 人減）

◎ 利用時間

午前 9 時～午後 4 時 30 分

◎ 休館日

日曜日・月曜日・祝日・年末年始

活動実践報告

（1）乳幼児親子対象の活動

ア 親子ゆうゆう教室（2 クラス編成）

対象/市内の 1 才～就園前親子 水曜 30 組・木曜 25 組（年間登録制の教室）

日時/毎月第 3 水、木曜日（4 月・8 月は、なし）午前 10 時～午前 11 時

目的/親子でふれあいながら、大勢の友達と一緒に楽しく遊んだ。

月 日	活 動 内 容	参加者
5 月 15 日(水) 16 日(木)	今日からおともだち！（自己紹介、仲間作り） 手形を取ろう	49 組
6 月 19 日(水) 20 日(木)	段ボールで遊ぼう（太鼓・電車ごっこ他） シアター「誰かなだーれ」	44 組

7月10日(水) 11日(木)	水あそび お絵かき・模擬プール	39組
9月18日(水) 19日(木)	小麦粉粘土作り ふれあい遊び・エプロンシアター「おいしい秋」	46組
10月17日(木)	2クラス合同 遠足 場所：菊川運動公園	39組
11月14日(木)	2クラス合同 運動会 場所：小笠体育館	33組
12月11日(水) 12日(木)	クリスマス会 (みんなでゲーム・パネル・リズム 他)	39組
1月22日(水) 23日(木)	鬼あそび、豆まき会 シアター「桃太郎」 (鬼退治あそび、工作、リズム、豆まき)	33組
2月19日(水) 20日(木)	室内ウォークラリー、工作「スクスク手形」 パネルシアター「子きつねこんとこだぬきぼん」	35組
3月12日(水) 13日(木)	みんなで楽しく人形劇を見よう 公演：水曜おはなし会さん	42組

イ ピョンぴよんクラブ

対象/市内の1才8ヵ月～就園前親子 24組 (年間登録制の教室)

日時/毎月1回木曜日(4月・8月は、なし) 午前10時～午前11時

目的/親子で体を動かすことの楽しさを味わった。

月 日	活 動 内 容	参加者
5月2日(木)	しげちゃん先生とあそぼう 講師	20組
6月6日(木)	しげちゃん先生とあそぼう 講師	21組
7月4日(木)	親子あそび	19組
9月5日(木)	ミニ運動会(かけっこ・玉入れ・リズム他)	19組
10月3日(木)	遠足 場所：八千代公園	10組
11月7日(木)	しげちゃん先生とあそぼう 講師	14組
12月5日(木)	親子遊び(ボール・シートを使ってボール遊び他)	12組
1月9日(木)	しげちゃん先生とあそぼう 講師	13組
2月6日(木)	新聞紙で遊ぼう・鬼ごっこ	13組
3月6日(木)	しげちゃん先生とあそぼう・修了式 講師	16組

ウ リトミックランド

対象/市内の1才8ヶ月～就園前親子 25組(前期・後期の教室)

日時/毎月第4木曜日(4月・8月は、なし) 午前10時～午前11時

目的/親子でリズムに合わせて動くことの楽しさを味わった。

<前期>

月 日	活 動 内 容	参加者
5月23日(木)	リズムあそび 講師：水野先生、鈴木先生 他	22組
6月27日(木)	〃 〃	21組
7月18日(木)	〃 〃	16組
9月26日(木)	〃 〃	21組
10月24日(木)	〃 〃	17組

<後期>

11月28日(木)	リズムあそび 講師：水野先生、鈴木先生 他	23組
12月19日(木)	〃 〃	24組
1月30日(木)	〃 〃	20組
2月13日(木)	〃 〃	21組
3月20日(木)	〃 〃	23組

(2) 小学生対象の活動

ア 小学生ボランティアサークル

対象/市内の小学生 21人 (年間登録制の教室)

日時/毎月1回土曜日 午前9時30分～午前11時(午後もあり)

目的/出来ることから始め、ボランティア活動の楽しさや心地良さを味わった。

月 日	活 動 内 容	参加者
5月18日(土)	はじめの会 自己紹介と年間計画	16人
6月8日(土)	観劇会のポスター作り	20人
7月6日(土)	観劇会のポスター作り続き、完成	20人
9月21日(土)	施設訪問の話し合い、練習	16人
9月28日(土)	施設訪問(JAデイサービス) 読み聞かせ・昔の遊び・折り紙・合唱	18人
11月9日(土)	赤い羽根共同募金活動(スーパー2店)	19人
12月28日(土)	児童館の大掃除	17人
1月11日(土)	児童館の周りのゴミ拾い	20人
2月8日(土)	新1年生へのプレゼント作り「本の整理」	15人
3月1日(土)	修了式・みんなで遊ぼう	17人

イ 小学生体験活動

対象/市内小学生

目的/いろいろな体験をする中で交友関係や活動の幅を広め心豊かにすることを目的に行った。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月2日(火)～4日(木)	小中高生デイ・カプラ	77人
6月22日(土)	茶道に挑戦	14人
8月23日(金)24(土)他	お化け屋敷実行委員 《チャレンジGO!》	95人
9月7日(土)	ウォーターバトル	41人
1月25日(土)	科学あそび	30人
3月8日(土)	なわとび会	27人
5月11日(土)	母の日のプレゼント作り(タオルかけ)	13人
5月18日(土)	親子クッキング(春のいなりずし他) 講師：関栄養士さん	29人
6月15日(土)	父の日のプレゼント作り(ありがとうボックス)	15人
6月29日(土)	親子で「手作り豆腐」を作ろう 講師：加茂ひろ子さん	25人
7月24日(水)～26日(金)	小中高生デイ・カプラ	97人
8月1日(木)17日(土)	小学生クッキング(夏休み)ビスケットケーキ	23人
3月27日(木)	小学生クッキング(春休み)ベーコンチーズエックバーガー	16人
8月7日(金)	小学生手作り「万華鏡」「切り絵風ペン立て」	27人
8月27日(火)～29日(木)	小中高生デイ・カプラ	182人
9月14日(土)	敬老の日のプレゼント作り(フォトフレーム)	15人

12月7日(土)	小学生手作り「牛乳パックのブッシュドノエル」	15人
12月25日(水)	小学生ブッシュドノエルケーキ作り 午前・午後	41人
12月24日(火)～27日(金)	小中高生デイ・カプラ	83人
2月1日(土)	チャレンジランキング&豆まき会	82人
3月22日(土)～28日(金)	小中高生デイ・カプラ	199人

★小中高生デイは長期の休みになるべく多く入れる様にし、便り以外でもチラシや同報無線でPRしてきた事で子供達にもデイの日が知られるようになってきた。

この日はいつもと違う遊びも出したり職員が子供の中に入りこみ遊びに参加しながら、一人で来館している子や違う学校・学年の子を遊びに誘う事でまた遊びたいと来てくれる子もいた。参加者は中高生は少ないが全体では増えている。

来年度はまだまだ多くの子に知らせていくようにPRを続け、遊びがマンネリにならない様に新しい遊びも取り入れながら、いろいろな子と関わりながらみんなで遊ぶ楽しさを知らせながら開催していきたい。

(開催日・参加人数 昨年9日間・285人→ 今年17日間・691人)

(3) 中高生対象の活動

中高生の体験活動

対象/市内の中高生

目的/ボランティア活動や講座を通して、いろいろな人とのかかわりをもち活動を楽しんだ。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月2日(火)～4日(木)	小中高生デイ・カプラ	10人
7月31日(水) 11月16日(土)	乳幼児の託児ボランティア	22人
7月24日(水)～26日(金)	小中高生デイ	13人
7月27日(土)	夏まつりボランティア	31人
8月16日(金)	スイーツ作り「豆乳プリン」 講師：天野真吾さん	14人
8月27日(火)～29日(木)	小中高生デイ	11人
8月(全6日間) 9月7日(土) 6月/10月/11月/3月他	お化け屋敷補助ボランティア ウォーターバトルボランティア 移動児童館・運動会ボランティア	45人
12月24日(火)～27日(金)	小中高生デイ	8人
2月8日(土)	スイーツ作り「クレープ・オ・フルーツ」 講師：天野真吾さん	8人
3月22日(土)～28日(金)	小中高生デイ	18人

(4) 誰でも参加できる活動

ア 自由来館

午前中は乳幼児親子、午後や土曜日・長期休暇時は幼稚園親子や小学生などが中心に自由に過ごす場の提供をして来た。いろいろな年齢の子や学年の子、学校の子と一緒に遊べるように職員が目配りながら遊びを楽しんだ。外での遊びもできる様に遊ぶ物を用意したり、場を繰り返す中で小学生は自分たちでも遊びが進められる様になってきた。

イ 移動児童館 ‘よっといで’

対象/どなたでも参加

日時/毎月 1 回土曜日（年間 11 回） 午前 10 時～午前 11 時

目的/屋外で思いっきり体を動かして遊んだり、いろいろな子ども達がふれあい、異年齢集団での遊びを楽しんだ。また地区センターにも行くことで色々な地区 の人に児童館を知ってもらう機会にした。

月 日	内 容	会 場	参加者
4 月 13 日(土)	自由あそび（ボール・フープ・長縄・他） かけっこ・読み聞かせ 他	セントラルパーク	38 人
5 月 25 日(土)	自由あそび（ボール・フープ・長縄・他） かけっこ・読み聞かせ 他	セントラルパーク	86 人
6 月 15 日(土)	自由あそび（ボール・フープ・長縄・他） かけっこ・読み聞かせ 他	セントラルパーク	29 人
7 月 13 日(土)	自由あそび・絵本の読み聞かせ・製作「プロペラロケット」・エプロンシアター	嶺田地区センター みねだ会館	12 人
8 月 8 日(木)	読み聞かせ・製作「スペースシャトル」 布絵本「おべんとうなーに」	南地区センター みなみやま会館	2 人
9 月 14 日(土)	読み聞かせ・製作「ストローアーチェリー」 リズム・エプロンシアター 他	東地区センター くすりん	15 人
10 月 19 日(土)	自由あそび（ボール・フープ・縄跳び・他） かけっこ・読み聞かせ 他	セントラルパーク	13 人
11 月 2 日(土)	自由あそび（ボール・フープ・縄跳び・他） かけっこ・読み聞かせ 他	セントラルパーク	40 人
12 月 14 日(土)	読み聞かせ・リズム「ラーメン体操」 製作「クリスマスリース」・大型絵本 他	嶺田地区センター みねだ会館	20 人
1 月 18 日(土)	読み聞かせ・ 製作「りぼんスティック」 エプロンシアター「だーれ、だーれ」 他	南地区センター みなみやま会館	9 人
2 月 15 日(土)	読み聞かせ・リズム・手遊び 製作「鬼ころがし」エプロンシアター 他	東地区センター くすりん	30 人
3 月 15 日(土)	自由遊び（ドッチボール・フープ・縄跳び） かけっこ・読み聞かせ 他	セントラルパーク	34 人

・その他、依頼を受け幼稚園や保育園（6/28、9/3、10/31、11/15）に出かけ、手遊び、リズム遊び、パネルシアター、大型紙芝居などを行った。

★小学生の参加を促そうと戸外でやる日を増やし必ずチラシの配布をしてきた。遊びは、ドッチボール・サッカーなど小学生の好きな遊びを用意した。戸外でやる時は参加者もいるが地区センターでは少なく小学生向けの製作など用意したがやはり幼児親子が中心だった。来年はチラシの内容を工夫しながら小学生はセントラル中心でさそっていきたい。読み聞かせは乳幼児と小学生を分けてやるなど考えたい。

（小学生参加者 昨年 66 人→今年 89 人）

ウ おはなしタイム

対象/どなたでも参加

日時/毎月 1 回 午後 15 時 30 分～15 時 45 分

目的/午後のひととき、友だちと一緒に読み聞かせを気軽に楽しむことを目的に、また幼稚園児の参加できる活動のひとつとして行った。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月26日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「ピカチュウ」	31人
5月31日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「カエルの時計」	17人
6月28日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「七夕飾り」	15人
7月19日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「くわがた」	16人
8月30日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「11匹のねこ」	23人
9月25日(水)	絵本の読み聞かせ・折り紙「くるりんバッタ」	10人
10月25日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「マックの帽子」	28人
11月27日(水)	絵本の読み聞かせ・折り紙「リンリンサンタ」	17人
12月20日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「うま」	9人
1月24日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「おに」	18人
2月21日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「おひなさま」	8人
3月28日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「はち」	23人

エ お母さんの簡単工作

対象/市内のお母さんどなたでも参加（お互い交代した子供を託児しあう）

日時/年3回 午前10時～11時

目的/短い時間だが子供から離れ工作を楽しむと同時にその子を託児することでいろいろな子がいることを知った。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月11日(木)	「フォトフレーム」	8人
11月22日(金)	「ホワイトツリー」	11人
2月14日(金)	「おひな様」	10人

オ 絵本の貸し出し事業

・年間受付 延べ 77人

・毎週金、土曜日は絵本の貸し出しを行ってきた。一人5冊まで借りることができるとした。ビデオの貸し出しも行った。

・活動の中や絵本の講座などで“親子で絵本を楽しもう！”と話をする機会を持ったたりその時期のお奨めの本などを、見えるところにおくように紹介したり、活動の中で読んだ本は見えるように置いて自分でもまた繰り返し読めるようにした。

・新しく本も購入し、新しい本とわかるように並べ読んでもらうようにした。

カ はじめまして！児童館

対象/引っ越してきた方・あまり利用したことがない方・児童館のこと知りたい方

日時/月1回 午後14時～15時

目的/児童館をあまり利用したことがない人や初めてでひとりで来館しにくい、また越してきたばかりで友だちもいないなどの方に児童館の事をいろいろお知らせしたり、みんなでおしゃべりすることで児童館に来館しやすくなるように開催した。

月 日	活 動 内 容	参加者
2月4日(火)	児童館の活動の説明・部屋の見学・おしゃべり会	12組
3月4日(火)	〃	0組

・今年度初めて2月から開催した。来年度PRしながら知ってもらえるようにやっていきたい。

(5) 特別企画事業

目的/いろいろな体験活動をする中で多くの人々と交流し、心の触れ合いを感じたり、楽しい思いでを親子で作り、心豊かにすることを目的に行った。

月 日	活 動 内 容	参加者
5月 6日(土)	新1年生いらっしや〜い「児童館の使い方・ゲーム」	11人
7月 27日(土)	夏祭り（バトントワラー・よさこいソーラン・お店やフリーマーケット・お楽しみ抽選会・夜間映画等）	664人
8月 5日(月)	人形観劇会 劇団ガイ氏人形劇場「ぶす・人形ファンタジー」	218人
8月 24日(土)	お化け屋敷にいらっしや〜い	229人
8月 31日(土)	映画会 幼児向け「アンパンマン・機関車トーマス」	122人
3月 29日(土)	小学生向け「魔女の宅急便・バズライトイヤー」	77人
11月 9日(土)	月と星を見る会 講師：小沢和夫さん	雨で中止
11月 30日(土)	クリスマスコンサート フラワービートさんの“楽しいコンサート”	199人
1月 11日(土)	お正月遊び&餅つき	101人

(6) 支援事業

地域子どもたちが健やかに育つことを願いボランティア活動や仲間作りをしているグループの育成支援。

ア みらい子育てネットの育成・支援

・「小笠東地区 ヤングリーフ」

小笠東小学校区を拠点に活動を進めている。学校、幼稚園への読み聞かせや学校のマラソン時お汁粉づくり、地区全体の豆まき、七五三祝い、地域イベントへの出店、秋の交通安全運動等会員相互の活動、地区全体の活動等幅広く活動した。

・「小笠南地区 のいちご会」

小笠南小学校区を拠点に活動を進めている。小学校持久走のお汁粉づくり、地区全体の豆まき、クリスマス会、苺狩り、七五三祝い、秋の交通安全運動等会員相互の活動、地区全体の活動など幅広く活動した。

イ 人形劇クラブ「やぞうこぞう」の育成・支援

今年度は活動を休止

(7) 地域連携事業

“子育ては地域ぐるみで”を念頭にいろいろな機関、人たちとの連携を深めてきた。

- ・中高生ボランティア受け入れ（夏祭り・チャレンジG0・コロコタイム他）ボランティア担当者会
- ・子どもを守るネットワークに参加
- ・ボランティア担当者会議参加
- ・食育連絡会参加
- ・子育て相談事業他の機関とのつなぎ

- ・更生保護女性会の人たちによる、コロコロタイム等の託児
- ・民生児童委員さんによるボランティア（夏祭り・運動会・）
- ・みらい子育てネット母親クラブ
親子のつどい 5月11日（土）
児童館夏祭り協力
- ・児童館だよりを各小学校・幼稚園・保育園・自治会回覧・各施設の情報コーナーへ配布した。また、活動のチラシ・ポスターなどを配布した。
- ・職員研修会参加
県・西部地区児童館連絡協議会研修会参加
夏の実技研修会参加
子育てマイスター公開講座参加

（８）安全管理

ア 安全点検

- ・施設、固定遊具、玩具などの日常点検と、月1回の安全点検を行った。
点検結果により随時適切に事後処理を行った。
- ・毎日の掃除の中で危険個所やこわれた玩具などがないか見ていくようにした。

イ 安全指導

- ・狭い館内であり、すべりやすいこともあり、安全に遊べるように呼びかけたりしている。また、卓球・ビリヤード台・サッカーゲームを出した時は、職員が必ず一緒に用意して小さい子が危なくないように境に安全バーを置くように指導した。
- ・児童館でのルールや遊具の使い方など事故防止のため指導を繰り返し伝え、子どもたちに安全に対する意識を身につけていくようにした。
- ・非常口通路の確保ができる様に来館者を含めくつはしまう等気をつけた。
- ・防災訓練を何度か突然実施する中で来館者に非常口と避難場所の確認をしてもらう機会を持った。
- ・流行性の疾病が発生した時は、たよりで感染しない様にうがいや手洗いなどを呼びかけるなど館内にポスターを掲示し注意を促した。

ウ 安全対策

- ・挨拶を交わしあうことで不審者対策をした。受付にて来館者チェックをし日常の見回りと声掛けを実施した。また、職員の近くに催涙スプレーを用意した。
- ・非常時に備え、来館状況の把握が確実にできるように来館者全員に帰る時間を書いてもらうようにし、災害時に児童館にいる人の把握ができるようにした。また、災害時の児童館の対応について、たよりで知らせたり館内に掲示して知ってもらうよう努めた。
- ・地域で流行性の疾病が発生した時は消毒液を受付に用意したり、たよりや館内の掲示でかかった子は完全に治るまで来館を控える様にお願いをした。
- ・地震に備え、はだか電燈に袋をかぶせ、卓球台・ビリヤード台・サッカー台は使わない時は安全ベルトで固定できるようにし、机・おもちゃの棚なども固定した。

平成 2 5 年度 小笠児童館月別入館者数

(単位：人)

月(日数)	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計	ボランティア	(市外)
4 月 (21)	189	735	387	39	2	795	2, 147	(12)	(161)
5 月 (21)	169	739	271	71	0	794	2, 044	(3)	(115)
6 月 (21)	224	813	253	35	1	887	2, 213	(13)	(153)
7 月 (22)	268	1, 036	677	90	17	1, 205	3, 293	(116)	(199)
8 月 (24)	195	1, 125	1, 247	132	12	1, 098	3, 809	(53)	(396)
9 月 (20)	186	917	284	25	0	916	2, 328	(25)	(174)
10 月 (22)	160	992	301	38	1	944	2, 436	(20)	(159)
11 月 (21)	173	883	317	83	7	817	2, 280	(10)	(137)
12 月 (20)	113	698	426	49	4	684	1, 974	(19)	(155)
1 月 (20)	113	645	247	25	9	615	1, 654	(7)	(128)
2 月 (19)	160	614	238	19	4	630	1, 665	(6)	(94)
3 月 (20)	191	805	676	31	5	764	2, 472	(0)	(189)
合計 (251)	2, 141	10, 002	5, 324	637	62	10, 149	28, 315	(284)	(2, 060)
月平均	178	834	444	53	5	846	2, 360	24	172
1 日平均	9	40	21	3	0. 2	40	113	1	8

6 きくがわ子育て支援センター「たんぽぽ」事業

子育て家庭（これから子育てを始める家庭を含む）に対する育児支援を行ない、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。

安心して子育てができるように子育て親子間の交流を深める活動、子育てに関する相談や援助等を実施した。

（１）子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

ア 自由来館

親子で遊んだりママ友達と情報交換をしたりして、自由にゆったりと過ごす場を提供した。

イ 0歳児親子教室「はじめての一步」

対象/0歳児親子（コンサートは兄弟参加可能）

内容/はじめての子育てを、子どもとのふれあいや友達になった親子との交流を通して楽しむとともに、友達づくりや親の情報交換の場となるよう行った。

開催日	内容	参加人数
5月8日(水)	親子ヨガ(講師:越水律子さん)	18組(37人)
6月5日(水)	ミニコンサート(講師:こすもすさん)	29組(62人)
7月3日(水)	親子ヨガ(講師:越水律子さん)	30組(61人)
9月4日(水)	ミニコンサート(講師:こすもすさん)	25組(56人)
10月2日(水)	親子ヨガ(講師:越水律子さん)	28組(57人)
11月6日(水)	ミニコンサート(講師:こすもすさん)	17組(37人)
12月4日(土)	親子ヨガ(講師:越水律子さん)	22組(46人)
1月23日(木)	ミニコンサート(講師:こすもすさん)	13組(34人)
2月5日(水)	親子ヨガ(講師:越水律子さん)	14組(29人)
3月5日(水)	ミニコンサート、軍手人形作り(講師:こすもすさん)	18組(37人)

ウ 多胎児親子教室「ふたごちゃん、こんにちは!!」

対象/多胎児親子、妊婦さん

内容/多胎児をもつお母さんや家族、多胎児妊婦が交流・情報交換をする中で、悩みや不安を少しでも減らし感動や喜びを増やす場となるよう支援した。

協力/更生保護女性会（毎回5人位）

開催日	内容	参加人数
6月27日(木)	はじめましてコンサート（こすもす）、絵描き歌、カエルの工作	11組(36人)
8月1日(木)	同窓会（コンサート、写真撮影、カニさんの扇子工作）	13組(52人)

10月31日(木)	ふたごちゃんの運動会、トーク	3組(13人)
12月14日(土)	クリスマスコンサート、サンタさん登場(「子育てレッスン」と同時開催)	2組(8人)
3月12日(木)	お楽しみ製作(写真立て)、子育てトーク	7組(29人)

エ 親子で遊ぼう「わくわくパーク」

対象/1歳6か月児以上(内容により“歩ける子”の場合あり)

内容/親子共に身体を動かし、運動の基礎を学びながらふれあい遊びを楽しんだ。

また、遊びを通して、子育てには父親参加の大切さを学んだ。

開催日	内 容	参加人数
6月4日(火)	大ちゃん先生と遊ぼう(講師：大場義貴さん)	20組(43人)
6月22日(木)	パパと大ちゃん先生と遊ぼう(講師：大場義貴さん)	20組(62人)
7月16日(火)	みんなで水遊び(2～3歳児)	11組(24人)
9月28日(土)	パパと大ちゃん先生と遊ぼう(講師：大場義貴さん)	25組(69人)
10月29日(火)	運動会ごっこ(牛乳パックで遊ぼう)	28組(57人)
11月16日(土)	パパと大ちゃん先生と遊ぼう(講師：大場義貴さん)	22組(72人)
2月25日(水)	大ちゃん先生と遊ぼう(講師：大場義貴さん)	28組(58人)

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施

ア 子育て相談業務

子育て全般に対する相談窓口として、電話、来館にて相談に応じた。また来館者に積極的に声掛けをし、話しやすい雰囲気をつくるよう配慮した。

<相談件数>

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	3	26	9	13	19	13	14	12	10	19	13	20	171
電話	4	5	6	20	5	6	0	0	1	0	0	0	47

(児童館相談件数と重複)

<相談内容>

・ 発育不安

(言葉を発しないので不安。左手をよく使うが、矯正したほうがいいのか。昼寝をしないが大丈夫か。自閉症ではないかと心配である。寝返りはいつになったらしますか。“言葉の教室”への参加を促されたが心配である。どもりが気になる。)

・ 育児不安

(熱性けいれんにより救急車で運ばれた子の今後の対応が不安。食べ始めると止まらなくなる子はどう止めたらいいか。父親は育児する気満々なのに、子供がなつきません。いやなことがあると、恐ろしいほどぐずる。3歳児だが、出かけるとすぐに抱っこをせがむ。小学生の長男と次男の性格の違いに悩む。)

- ・ 家庭での心配事

(夫に愛情が持てない。乳児がいて家族が感染症になったらどうしたらいいか。夫の実家に行くのが苦痛である。予定外の3人目を妊娠中だが、これでよかったのかと不安になる。子供の熱中症対策はどのようにしたらいいか。第2子を妊娠中だが、昨年実母を癌で亡くしたため、里帰り出産ができずに不案である。)

- ・ 園での心配事

(仲間はずれになっているらしく、心配。保育園の先生が厳しすぎ、いつも笑顔がなくて子供が好きとは思えず不満である。緊張するとすぐに泣いてしまう子の園での様子が心配)

- ・ その他

(職場にタイムカードがなく、勤務時間が長いので転職を考えている。菊川に家を建てるべきか、浜松にするべきか。地区の保育園に入園すべきか、私立の幼稚園に入園すべきか。出産後の肩こりに悩んでいる。土地お探しているが、夫婦ともに県外出身なのでお祭りのない地域に家を建てたいが。アパートの下階より子供の異様な泣き声がするが、どこに通報したらいいか。かかりつけ医はどのように決めたらいいか。)

イ 子育て事業「おしゃべりひろば」

対象/0～3歳児親子

内容/小さなことでも相談、おしゃべりすることで気持ちの負担の軽減につながるよう配慮した。

協力/家庭相談員

開催日	内 容	参加人数
5月28日(火)	トークテーマ「パパのいいところ」、自己紹介トーク	15組(32人)
7月23日(火)	トークテーマ「夏を過ごすためのコツ」 リレー自己紹介、手遊び	7組(14人)
9月3日(火)	カニさん扇子の工作、近くの人達とのおしゃべり	17組(36人)
11月27日(水)	トークテーマ「大掃除について」「心配事」 手遊び、紙芝居	10組(21人)
1月29日(水)	トークテーマ「心の鬼を退治しよう」 豆まきのうた、手遊び	8組(18人)
3月18日(火)	トークテーマ「新年度を迎えるに当たり、心の準備」 自己紹介リレー	5組(11人)

*漠然とテーマを決めての座談会で相談を聞き出している会。

漠然とすることでかきこまらず、気軽に参加し、何気なく悩み事が解決できることを目的とする。参加者も具体的な事例を出し、みんながそれを問題として捉え、アイディアを出しながら手助けしてくれることで場を盛り上げてくれる。「みんな同じ悩みがあるんだ」と共感し、「子育ては一人じゃないんだ」と寄りかかる安心感を持ってつながっていることで子育ての力になっているようだ。

けやき1F ボランティア室を会場とし、こじんまりと親密性高く顔を突き合わせる事ができ、友達の輪も広がっているようだ。

ウ 子どもを守るネットワーク(菊川市要保護児童対策地域協議会)

年間9回会合に参加し、支援の内容を協議した。

エ 静岡県少子化対策委員会

県より対策委員として任期2年の委嘱を受け、年間2回の会合に参加した

オ 婚活レクリエーション

社会福祉協議会事業に講師として参加した

(3) 地域の子育て関連情報の提供

託児や子育て支援に関する情報(民間を含む)を集め、自由に持ち帰ってもらうようにした。

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

ア 子育てレッスン

対象/0歳～3歳の子を持つ保護者

内容/親の子育て力を高める活動、親のリフレッシュ活動、子どもとのふれあいを楽しむ活動を通して子育ての楽しさを実感してもらった。

託児協力/更生保護女性の会、民生委員児童委員協議会児童福祉部

託児依頼/子育てサポートりぼん

月 日	内 容	参加人数
4月17日(水)	初めましての会、プラザけやき館内見学、いきいきサロン訪問等	18組(40人)
5月15日(水)	みんなで骨盤体操 講師：古池紀匡さん	19組(65人) 託児(20人)
6月19日(水)	みんなで食育 講師：関明子さん	18組(60人) 託児(17人)
7月17日(水)	みんなで水遊び(2～3歳児) 金魚のおみやげ	21組(43人)
8月21日(水)	みんなで読みきかせ(手遊び、絵本、紙芝居) 講師：小笠原図書館職員	15組(37人)
9月25日(水)	みんなで骨盤体操 講師：古池紀匡さん	22組(73人) 託児(22人)
10月23日(水)	県事業「ファミリープレイプログラム」 講師：気のいい羊たち(座広寺さん)	21組(45人)
11月26日(火)	ママの目線で考えた家族防災講座 講師：市東みはるさん(静岡県災害支援隊)	25組(55人)
12月14日(土)	クリスマスコンサート、サンタさん登場 「ふたごちゃん、こんにちは!!」と同時開催	18組(44人)
1月28日(火)	みんなで骨盤体操 講師：古池紀匡さん	20組(63人) 託児(22人)
2月7日(金)	みんなで食育「五平餅、サツマイモプリン」 講師：関 明子さん	23組(71人) 託児(24人)

3月11日(火)	絵本の読み聞かせ 講師：水ようおはなし会	27組(66人)
----------	-------------------------	----------

(5) 地域支援活動の実施

ア 移動子育て支援センター「すくすくひろば」

対象/子育て中の親子、妊婦さん

内容/地域へ出向き、手遊び、おもちゃ遊び、歌、絵本、ボール遊び、制作、ふれあいトーク等を通して子育て支援援助を行った。身近な人たちとのふれあいの中で地域の人たちとの絆を深め、地域を知る良い機会となった。

地区センター名	回 数	参加人数(延べ人数)
西方地区センター	5	61組(132人)
河城地区センター	5	54組(117人)
青葉台コミュニティセンター	5	46組(108人)
横地地区センター	5	53組(109人)
内田地区センター	5	42組(95人)
加茂地区センター	5	80組(174人)
牧之原農村婦人の家	5	58組(125人)
合 計	35	394組(860人)

*市内(菊川地区)を知ってもらう絶好の事業である。県内外からの転入者が多い菊川市では、近所に人見知りもいなく、密室育児が起こりがちな環境の中で、小学校単位にある地区センターを利用しての事業なので、地域を知る“市内探訪”の意味では大いに参加してほしい。

まだまだ、地域での子育てには時間がかかりそうだが、車社会が主流な地域柄を考えれば、市全体をフィールドと捉えて行動してもらえればと思う。

(6) 職員研修

月 日	内 容
6月24日(月)	児童虐待防止研修会 ～現場で困っていることはなんですか～
8月24日(土)	東京こどもの城造形遊び(粘土・絵の具の講座)
9月21日(土)	東京こどもの城研修会(家族をつなぐ遊び)
10月7日(月)	子育て未来マイスター研修(活動事例発表)
11月2日(土)	子育て講演会(親子を笑顔にする子育て・しつけのコツ)

7 おがさ子育て支援センター「ひまわり」事業

子育てしているお母さんや他の家族の居場所・友だち作りの場・相談の場として活用してもらい、少しでも安心して子育てが出来るように、また子供たちの健やかな成長の手助けができるようにと、子育て親子の交流の場の提供と促進や講習会を開催したり、子育てに関する相談に応じることで、子育て支援をしてきた。

(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

ア 自由来館

親子で遊んだり友だちと一緒に遊んだり、ゆったりと自由に過ごす場の提供をした。一人で来ている来館者には様子を見ながら声掛けをしたり、他の来館者との仲を取り持つなど交流する場を作ったりした。

イ コロコロタイム (A組 16組、B組 17組 2クラス編成)

対象/市内の3ヵ月～1才未満の親子 (年間登録制の教室)

日時/毎月1回水曜日 (4月・8月は、なし) 午前10時～午前11時

目的/親子でふれあいを楽しんだり、子育てを楽しめるよう色々なことに挑戦した。また、お母さん同士の交流をしたり、育児についての話をしてもだち作りをした。

月 日	活 動 内 容	参加者
5月 8日(水)29日(水)	A B ベビーマッサージ・自己紹介	27組
6月 5日(水)25日(火)	A B 親子ヨガ 講師：越水律子先生	28組
7月 3日(水)17日(水)	A B 簡単おもちゃ作り・フリートーク	29組
9月 6日(金)20日(金)	A B 食育のお話 講師：関栄養士さん 託児	26組
10月 15日(火)18日(金)	A B 乳幼児の心肺蘇生法 講師：消防署職員 託児	21組
11月 13日(水)20日(水)	A B ふれあい遊び・フリートーク	18組
12月 18日(水)	A B 折り紙・ケーキ作りとクリスマス会	30組
1月 8日(水)15日(水)	A B ふれあい遊び・フリートーク	22組
2月 22日(土)	A B 親子でリトミック 講師：リトミックの先生	22組
3月 5日(水)	A B ふれあい遊び・大型紙芝居・他	16組

*託児：更生保護女性会のみなさん

ウ いないいないばあ

対象/生後3ヵ月から1歳までの親子 (家族) どなたでも参加できる

日時/4月より毎月2回 午前10時～午前11時

目的/赤ちゃんとのふれあいの仕方を知ったり、お母さん同士おしゃべりをするなかで、子どもの育ちをみつめたり、不安やストレスを和らげたりした。またお母さんの友だち作りの場とした。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月 12日(金) 19日(金)	ベビーマッサージ 歌 ふれあい遊び おしゃべり会	37組
5月 10日(金) 24日(金)	〃	41組

6月12日(水) 14日(金)	〃	46組
7月5日(金) 12日(金)	〃	44組
8月9日(金) 29日(木)	〃	46組
9月13日(金) 27日(金)	〃	40組
10月11日(金) 25日(金)	ベビーマッサージ 歌 ふれあい遊び おしゃべり会	29組
11月8日(金) 29日(金)	ベビーマッサージ 歌 ふれあい遊び おしゃべり会 親子ヨガ 講師：越水律子先生	36組
12月6日(金) 13日(金)	クリスマス会 歌 大型絵本 サンタ登場	27組
1月17日(金) 31日(金)	ベビーマッサージ 歌 ふれあい遊び おしゃべり会	19組
2月7日(金) 26日(水)	〃	33組
3月7日(金) 14日(金)	ベビーマッサージ 歌 ふれあい遊び おしゃべり会 こすもすさんのミニコンサート	47組

★昨年度の反省を踏まえて今年は月2回開催しどちらかで参加してもらうようにした。

全体では78組の参加増となったが2回開催することで分散され、人数が多すぎて混乱するという事もなくなりちょうど良い人数での活動となった。参加者は何回か参加する事で知り合いもできたり、普段の来館時も声を掛け合い一緒におしゃべりする様子も見られた。

エ ちびっこおたのしみ館

対象/どなたでも参加できる

日時/毎月第2、第4火曜日 午前10時～午前11時

目的/親子でのいろいろな遊びを通して、母と子の心のふれあいを豊かにしたり人とかかわる楽しさを感じたりすることを目的に行った。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月9日(火)	手あそび 絵本の読み聞かせ 工作「こいのぼり」	16組
23日(火)【青空】	パネルシアター「イチゴはどこ」他 遊具あそび・ボール・シャボン玉 他 場所：蓮池公演	18組
5月7日(火)	絵本の読み聞かせ 工作「かぶと」 リズム	23組
21日(火)【青空】	パネルシアター「プーさんとかくれんぼ」他 遊具あそび・ボール・シャボン玉 他 場所：蓮池公園	21組
6月4日(火)	手あそび 絵本の読み聞かせ 工作「ぴよんぴよんガエル」	
18日(火)	シアター「ねずみの歯磨き」他 ポコ・ア・ポコさんのコンサート(歌・楽器演奏・手遊び・他)	43組
7月2日(火)	工作「七夕飾り・ストローロケット」絵本の読み聞かせ	
16日(火)	リズム「妖怪村の夏祭り」シアター「天の川キラリンコ」	54組

8月 6日(火) 20日(火)	工作「プクプクお化け・他」 絵本の読み聞かせ シアター「パカンとわれて」他	48組
9月 10日(火) 24日(火)	手あそび 絵本読み聞かせ 工作「お散歩わんわん」 シアター「おおきなかぶ」リズム「ラーメン体操」他	40組
10月 8日(火) 22日(火)【青空】	工作「ハロウィンBOX」リズム「ラーメン体操」 シアター「うさぎとかめ」 読み聞かせ 他 遊具あそび・ボール・シャボン玉 他 場所：蓮池公園	32組
11月 5日(火) 19日(火)	絵本読み聞かせ 工作「プープーぶえ・みのむし」 パネルシアター「きつねのつねた」 他	49組
12月 3日(火) 17日(火)	工作「クリスマスリース」シアター「森のクリスマス」 リズム「白ひげのサンタさん」読み聞かせリボンタイム	48組
1月 7日(火) 21日(火)	工作「こま・パクパクわんにゃん」 シアター リズム「ラーメン体操」 読み聞かせリボンタイム	47組
2月 4日(火) 18日(火)	工作「豆入れ・おひなさま」リズム「鬼のパンツ」 シアター「おひなさまはだあれ」 他 リボンタイム	53組
3月 4日(火) 25日(火)	お楽しみ『おさんぽ』他：水曜おはなし会さん・工作「トトロ」 茶間屋ショーゴさんの人形劇「こぶとり・ウサ吉くんとカメ男くん」	100人

- ・3回(4月・5月・10月)は蓮池公園に青空ちびっことしてでかけた。
- ・ボランティアでりぼんさんが読み聞かせに来てくれる日もあった。

オ みんなみんなよっといで運動会

対象/市内の親子家族どなたでも

場所/小笠体育館

目的/いろいろな年齢の子が交流しながら体を思いきり使い家の人たちと一緒に 動くことを楽しんだ。

月 日	活 動 内 容	参加者
10月5日(土)	かけっこ・借り物競走・玉入れ・パン食い競争 じゃんけん汽車・リズム・他	103人

(2) 子育てに関する相談、援助の実施

ア 読み聞かせ&ホットタイム

対象/どなたでも参加できる

日時/年5回 午前10時～11時

場所/平川地区防災コミュニティセンター

目的/親子で読み聞かせを楽しみ、ゆったりとした時間の中でお母さん同士でおしゃべりをしたり悩みを話すなどしながら、ともだち作りの場とした。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月 25日(木)	読み聞かせ・ゲーム・おしゃべり会 他	10組
6月 7日(金)	〃	7組
10月30日(水)	〃	7組
12月20日(金)	〃	14組
2月28日(金)	〃	16組

★参加してくれたお母さん達はゆったりと楽しんで、もっと回数がほしいとか人数が多すぎないので話がゆっくりできるなどの声が出た。相談員さんにも入ってもらい話したり、子育てのサービスについて聞いたり乳幼児を持つお母さんの相談の場としてよかった。時間になってもなかなか腰を上げず時間がすぎることもあった。しかしまだまだ知られていない。今年度は回数を1回増やしたが不定期なのでわかりにくいこともあったし声をかけもっと知ってもらうためのPRも足りなかったが後半は声をかけることで参加者も増えていった。来年度は1回増やしひと月おきにすることで開催をわかりやすくしたい。

イ 子育て相談事業

- ・年間受付 来館相談 91件
- ・自由来館時 随時行ってきた。
話しやすい環境につとめ、子どもの育ちをみつめながら気軽に話をした。
また、「いないいないばあ」や「コロコロタイム」「読み聞かせ&ホットタイム」などの教室や集いの場でフリートークの場を持ち、おしゃべりの場に職員が入ったり、栄養士さんや市の相談員さんに入ってもらいながら一緒に考え共感したりアドバイスも行った。
継続した見守りも大切であるので、その後の声かけなども行なうようにした。
また職員で受けた相談について話を出し合い共通理解をもった。
- ・ちびっこおたのしみ館のなかでも家庭相談員による相談日を設けた。
- ・相談内容について
子どもの発達について・毎日の中の生活習慣について・食生活について
子どもの健康について・子供の性格について・母親の悩み事について(祖父母とのこと・夫のこと・自分の子育てについて・他)・祖母より母親についてなど

(3) 地域の子育て関連情報の提供

ア 子育て情報の提供

支援センターの情報・県、市からのお知らせや子育てに関する情報・講習会についてのチラシ・託児について・サークルの情報など自由に取れるように玄関付近に設置した。また幼稚園の自由来園の日の情報や、幼稚園・保育園の入園のお知らせなどを掲示板に張り出しチラシも置いた。

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習会などの実施

ア お母さんのリフレッシュタイム

対象/市内の子育て中のお母さんどなたでも

日時/年3回

場所/子育て支援センター・地区センター

目的/子育て中のお母さんが子どもと少しだけ離れ自分の時間を持ちリフレッシュする時間を楽しんだ。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月20日(土)	ヨガ 講師：越水律子さん	13人
7月31日(水)	スイーツづくり 講師：天野真吾さん	12人
11月16日(土)	軍足人形づくり 講師：三浦康子さん	9人

託児…中高生・更生保護女性会のみなさんがボランティアで託児をしてくれた。

イ 絵本の読み聞かせ講座

目的/親子で絵本を楽しむ中で本の選び方、読み方などのヒントを得ることを目的に行った。

講師/水ようおはなし会のみなさん

月 日	活 動 内 容	参加者
4月17日(水)	親子で絵本をみたり人形劇をみたりする中で絵本の意図や読むときの注意、選び方、楽しみ方などについての話を聞く	10組
10月1日(火)		19組

(5) 地域連携

ア お便り配布

子育て支援センター便りを自治会回覧・各施設等の情報コーナーへ配布した。
また、活動のポスターなども掲示したり、市の保健師さんを通じ活動のチラシを配布してもらった。

イ 職員研修参加

- ・夏の実技研修会参加
- ・子育てマイスター初任者研修会参加
- ・子育てマイスター公開講座参加
- ・東京こどもの城実技研修会参加

8 介護保険事業

介護保険事業所を取り巻く環境は、利用者数の減や、サービス内容の変化等により減収となった。人材確保や介護職員の待遇改善、職員の効率的な配置や業務の兼務化にも取り組み、引き続き安定した経営に努めた。今後も「信頼される心のこもったあったかいサービス」の提供に努力していきたい。

I 居宅介護支援事業

きくがわ居宅介護支援事業所（ケアプラン作成件数）前年度 2,180 件（201 件）
（ ）は予防プラン作成件数（単位：件）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
164 (16)	168 (19)	171 (19)	172 (18)	173 (20)	166 (20)	170 (17)	175 (18)	169 (19)	171 (18)	166 (17)	165 (20)	2,030 (221)

II 訪問介護事業

きくがわヘルパーステーション（月別稼働状況）

前年度 派遣回数 4,929 回 稼働時間 4,437 時間 利用者数 564 人

（単位：回、時間、人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
派遣回数	483	442	448	434	460	428	415	422	327	339	342	406	4,946
稼働時間	400	356	382	385	400	379	376	374	315	307	301	355	4,330
利用延数	39	43	41	41	41	40	39	40	36	37	34	35	466

III 通所介護事業

(1) 東部デイサービスセンターぎおんの里〔小規模〕（利用実績）

前年度 運営日数 245 日 利用延数 2,943 人 1 日平均 12 人

（単位：日、人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
運営日数	21	21	20	22	22	19	22	20	19	19	19	20	244
利用延数	235	232	221	241	246	188	209	196	173	161	166	194	2,462
1 日平均	10.1	11.2	11	11.1	11	11.2	9.9	9.5	9.8	9.1	8.7	9.7	10.1

(2) 中部デイサービスセンター〔通常規模〕 (利用実績)

前年度 運営日数 293 日 利用延数 6,515 人 1 日平均 22.2 人

(単位：日、人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
運営日数	25	24	25	26	27	23	26	24	23	23	23	25	294
利用延数	541	544	541	546	595	515	555	483	456	453	450	500	6,179
1 日平均	21.5	22.7	21.5	21	22	22.4	21.3	20.1	19.8	19.7	19.6	20	21

IV 訪問看護事業

(1) きくがわ訪問看護ステーション (月別稼働状況)

前年度 利用者数 815 人 利用件数 4,040 件 利用時間 3,359 時間

(単位：人、件、時間)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用者数	64	68	66	65	67	68	64	67	67	64	60	63	783
利用件数	345	365	347	423	374	346	344	329	311	293	279	328	4,084
利用時間	296	316	280	354	300	276	292	278	250	244	237	260	3,383

実習生受入状況

地域福祉推進と福祉に関わる人材育成を目的に、多様な機関から多くの実習生を受け入れている。

NO	期 間	機 関	受入先
1	4/12	三幸カレッジ（1名）	ヘルパーステーション
2	6/3～6/8	静岡県立大学短期大学部（1名）	菊川市社会福祉協議会
3	6/10	三幸カレッジ（1名）	ヘルパーステーション
4	6/17	タップ(株)（1名）	ヘルパーステーション
5	6/18	タップ(株)（1名）	ヘルパーステーション
6	7/1～7/5	静岡県社会福祉協議会（1名）	中部デイサービスセンター
7	8/1.2	(株)ゼフィール（1名）	ヘルパーステーション
8	8/12～8/16	静岡県社会福祉協議会（1名）	中部デイサービスセンター
9	8/13～8/31	名古屋市立大学（1名）	菊川市社会福祉協議会
10	8/13～9/12	静岡英和女学院（1名）	菊川市社会福祉協議会
11	8/19～9/9	静岡福祉大学（1名）	菊川市社会福祉協議会
12	8/20～9/4	常葉大学短期大学部（1名）	菊川市社会福祉協議会
13	9/9～9/13	静岡県社会福祉協議会（1名）	中部デイサービスセンター
14	2/28	タップ(株)（1名）	ヘルパーステーション

9 障害者総合支援法事業

障害者総合支援法に基づく、居宅介護と地域生活支援事業は利用者も少ないため、単独事業では経営は困難な部分もあるが、介護保険事業と一体化した体制で運営していくことで、在宅での暮らしを支援し、個別のニーズに対応している。

I 居宅介護等事業

社協きくがわ支援事業所

前年度 派遣回数 404 回 稼働時間 625 時間 延利用者数 101 人

(単位：回、時間、人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
派遣回数	27	29	34	37	35	34	40	38	45	36	34	26	415
稼働時間	44.5	48.5	53.5	55.5	52.5	48.5	55.5	53	61.5	47.5	49.8	36	606.3
利用者数	6	8	7	7	8	6	8	8	11	9	9	9	96

Ⅱ 地域生活支援事業

(1) 訪問入浴事業 前年度 派遣回数 50 回 延利用者数 12 人

(単位：回、人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
派遣回数	5	3	2	5	4	4	5	4	4	4	3	3	46
利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(2) 移動支援事業

前年度 派遣回数 48 回 稼動時間 223 時間 延利用者数 12 人

(単位：回、時間、人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
派遣回数	2	4	3	3	4	3	3	6	11	6	4	6	55
稼動時間	9	20	16.5	10.5	15.5	11.5	10.5	23	24	22	16.5	21.5	200.5
利用者数	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	20